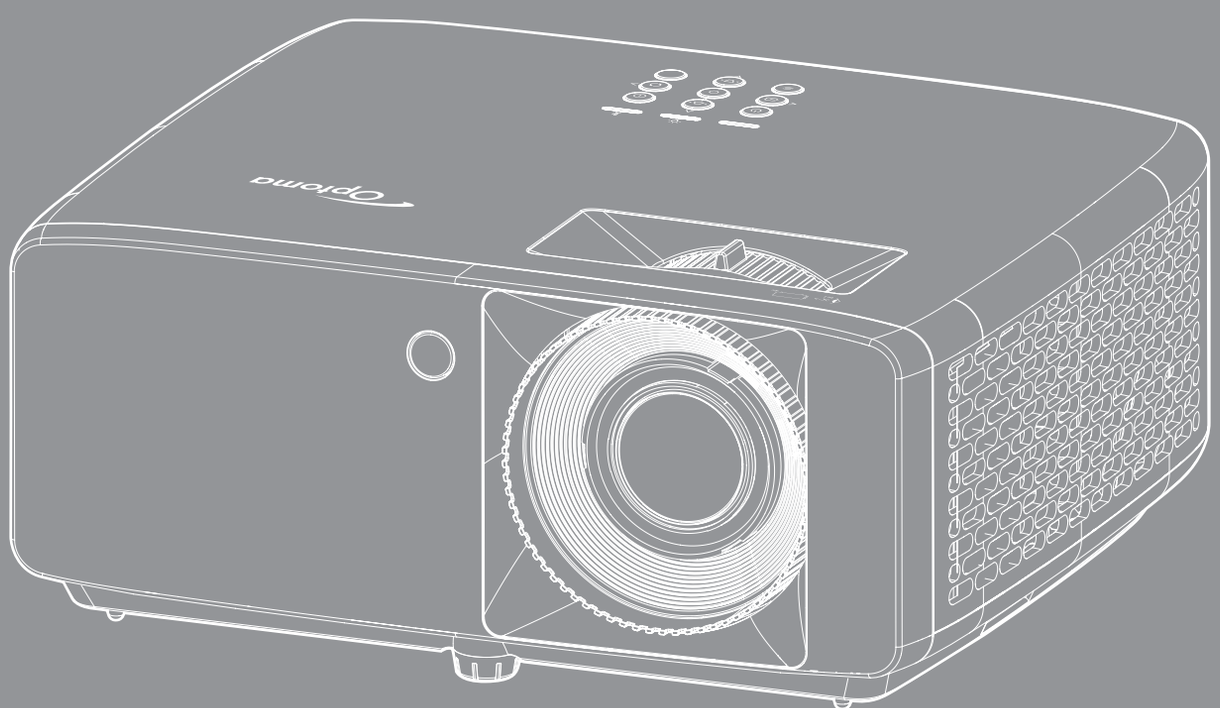
Optoma

FHD DLP レーザープロジェクター

AZH460

取扱説明書



HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE DLP TEXAS INSTRUMENTS 3D Full

目次

使用上のご注意 4

安全上のご注意 4
レーザー放射安全情報 5
著作権 7
免責事項 7
商標権 7
FCC 7
EU諸国に対する適合宣言 8
WEEE 8
レンズの清掃 8

はじめに 9

パッケージの内容 9
標準アクセサリー 9
製品の各部名称 10
接続 11
キーパッド 12
リモコン 13

設定と設置 14

プロジェクターの設置 14
ソースをプロジェクターに接続する 16
投写画像の調整 17
リモコンの準備 19

プロジェクターを使用する 21

プロジェクターの電源を入れる/切る 21
入力ソースを選択する 22
プロジェクター設定メニュー(OSD) 23
OSDメニューツリー 24
モードメニュー 30
ダイナミックレンジメニュー 30
輝度メニュー 30
コントラストメニュー 31
シャープネスメニュー 31
ガンマメニュー 31
色設定メニュー 31
壁色補正メニュー 31
3Dメニュー 32
リセットメニュー 32

設置モードメニュー..... 33
ブライトモードメニュー..... 33
ダイナミックブラックメニュー..... 33
ゲーミングモードメニュー..... 33
スクリーンタイプメニュー..... 33
アスペクト比メニュー..... 34
ジオメトリ補正メニュー..... 37
デジタルズームメニュー..... 37
映像移動調整メニュー..... 37
リセットメニュー..... 37
テストパターンメニュー..... 38
言語メニュー..... 38
メニュー設定メニュー..... 38
高地モードメニュー..... 38
フィルター設定メニュー..... 38
電源設定メニュー..... 39
セキュリティメニュー..... 39
本体キー設定メニュー..... 39
起動画面メニュー..... 40
背景色メニュー..... 40
リセットメニュー..... 40
自動入力源メニュー..... 41
自動入力切り替えメニュー..... 41
HDMI CEC 設定メニュー..... 41
リセットメニュー..... 41
音量メニュー..... 42
ミュートメニュー..... 42
リセットメニュー..... 42
デバイス ID メニュー..... 43
リモコン設定メニュー..... 43
本体キー設定メニュー..... 43
LAN メニュー..... 43
コントロールメニュー..... 45
コントロール設定メニュー..... 46
リセットメニュー..... 53
情報メニュー..... 54

追加情報 55

対応解像度..... 55
イメージサイズと投写距離..... 59
プロジェクターの寸法と天井取り付け..... 60
IR リモコンコード..... 62
故障かなと思ったら..... 64
警告インジケーター..... 66
仕様..... 67

使用上のご注意

	正三角形に矢印の付いた稲妻は、製品の本体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」がかかっていることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

安全上のご注意

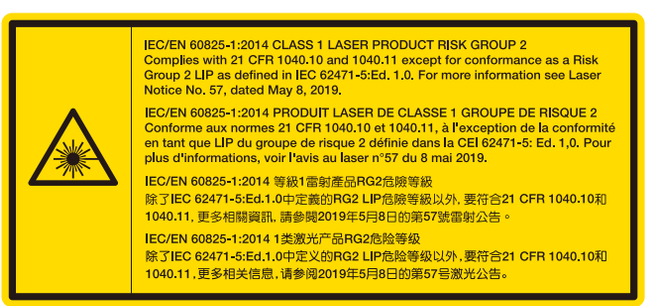
- 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。例えば、多くのものが置いてあるところにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。
  注）：火災や感電の原因になります。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む) など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。
  注）：危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が 0° C ～ 40° C の範囲に保たれていることを確認します
    (ii) 相対湿度は最大 80% です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的な破損/乱用は次のような場合をいいます。 (但し、これは一部の例です)：
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。
  注）：プロジェクターが落下してけがの原因となったり、または機器が破損することがあります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。
  注）：光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。
  注）：感電の原因になります。
- 本機の修理は、テクニカルサポートセンターにご連絡ください。
- 安全に関する注意書きについては、プロジェクターの本体をご覧ください。
- メーカー指定の付属品 / アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクター使用中、レンズを直視しないでください。
  注）：高輝度の光が目に損傷を与える危険があります。
- 本プロジェクターは、光源の寿命を自動的に検知します。

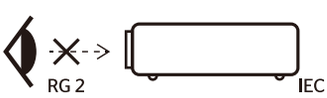
使用上のご注意

- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイ本体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
  注）：本体を研磨剤入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受ける可能性のある場所に、プロジェクターを設置しないでください。
- レンズは素手で触らないでください。
- 保管時は、リモコン内の電池を外してください。
  注）：電池を長期間リモコンに入れたままにしておくと、液漏れが起きる場合があります。
- 石油やタバコの煙が存在する可能性がある場所にプロジェクターを使用または保管しないでください。
  注）：プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターの設置は正しい向きに行ってください。
  注）：非正規の設置方法は、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターには、テーブルタップまたはサージ保護電源をご使用ください。
  注）：停電や電圧異常により機器が使用不能になる場合があります。

レーザー放射安全情報

- 本プロジェクターは、IEC 60825-1:2014 のクラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 2として分類され、IEC 62471:5:Ed. 1.0 で定義されているリスクグループ 2、LIP (レーザー照明プロジェクター) として 21 CFR 1040.10 および 1040.11 にも準拠しています。詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。





- 高輝度の光源に関しては、レーザーを直接凝視しないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
  - このプロジェクターは、IEC/EN 60825-1:2014 のクラス 1 レーザー製品で、IEC 62471-5:2015 の要件を伴うリスクグループ 2に属します。
- お子様については、プロジェクターからの光線はどんな距離からでも見つめさせないようにしてください。
- プロジェクターのレンズ前でリモコンを操作してプロジェクターを起動させる場合は、特にご注意ください。
- ユーザー各位は、光線経路に双眼鏡や望遠鏡などの光学機器を使用しないようにご注意ください。
- プロジェクターの電源が入っているときにレーザービームを見つめないでください。明るい光によって目に永続的な障害が生じる恐れがあります。

使用上のご注意

- レーザー光路に反射物（拡大鏡など）を近づけないようにしてください。レンズから投写される光路は広範囲であるため、レンズから出てくる光の方向を変換させるあらゆる種類の異物な物体が、火災や目の傷害などの予期しない結果を引き起こす可能性があります。
- 取扱説明書によって特に指示されていないどんな操作または調整でも、レーザー放射にさらされる危険性を生み出します。
- プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
  注）：レーザー放射の曝露によって負傷することがあります。
- プロジェクターの電源が入っているときに、レーザービームを見つめないでください。
  注）：明るい光によって、目に永続的な障害が生じる恐れがあります。

コントロール、調整または操作手順に従わないと、レーザー放射の曝露によって負傷する恐れがあります。

使用上のご注意

著作権

この取扱説明書は、全ての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。この取扱説明書に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2022

免責条項

本書の情報は予告なしで変更される場合があります。製造元は記載内容を代表、または保証することはありませんし、また商品性の暗黙の保証および特定の目的への適合性に関しての責任は負いかねます。製造元は当出版物の内容に関して時に応じて変更する権利を有し、またそのバージョンや変更に関する通知の義務は一切持たないものとします。

商標権

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国における登録商標であり、世界における各地の登録済または申請中のものも含まれます。

HDMIおよびHDMI ロゴ、さらにHigh-Definition Multimedia Interface は米国およびその他の国で HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLPのロゴは、Texas Instruments の登録商標、BrilliantColor™ もTexas Instruments の商標です。

本書に記載された他の全ての製品名は、個々の会社に帰属し、識別用に使用されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉への適切な保護を提供するために規定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、特定の設置状況においては電波障害をおっこさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオン・オフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店や資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意：シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

FCC準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制されることがあります。

使用上のご注意

操作条件

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします：

1. 電波障害を起こさないこと。
2. 本装置は誤作動の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

注意：カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE

廃棄に関する指示

この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。

レンズの清掃

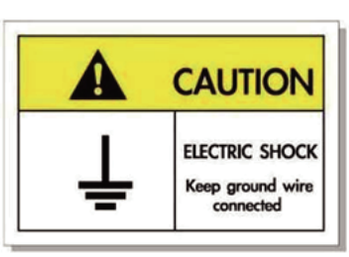
- レンズを清掃する前に、必ずプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いて本体の温度が完全に下がるのを待ってください。
- ホコリを取り除くには、圧縮空気スプレーをご使用ください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズは素手で触らないでください。
- レンズの清掃にアルカリ性/酸性洗剤またはアルコール等の揮発性溶剤を使わないでください。

  ※ 清掃処理により、レンズが損傷した場合は、保証の対象外となります。

警告：レンズからホコリや汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使わないでください。プロジェクター内部の過度な熱により火災が発生する可能性があります。

警告：プロジェクターがウォームアップ中は、レンズ清掃を行わないでください。レンズ表面のフィルムが剥がれる恐れがあります。

警告：硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。



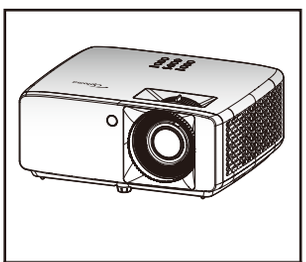
感電防止のため、本体および周辺装置は正しく接地（アース）する必要があります。

はじめに

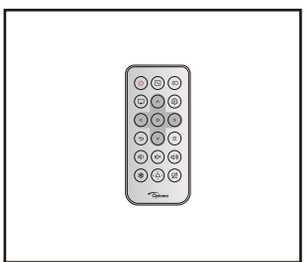
パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、標準アクセサリー一覧に記載されている品目が揃っていることを確認してください。

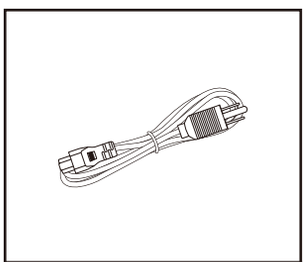
標準アクセサリー



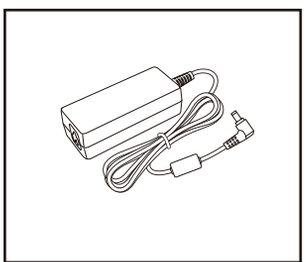
プロジェクター



リモコン



電源ケーブル



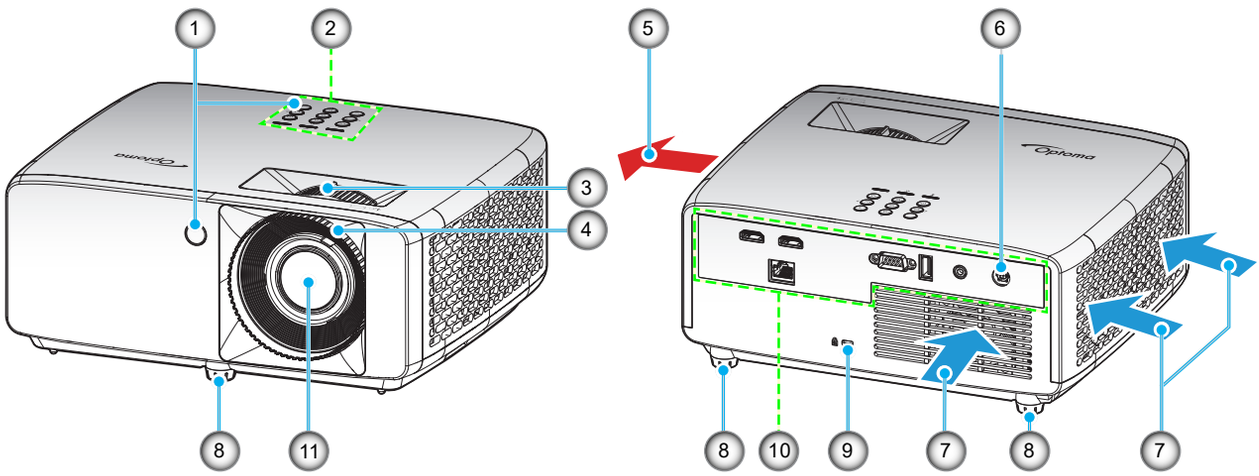
電源アダプター

取扱注意書
(QRコード)

文書

はじめに

製品の各部名称



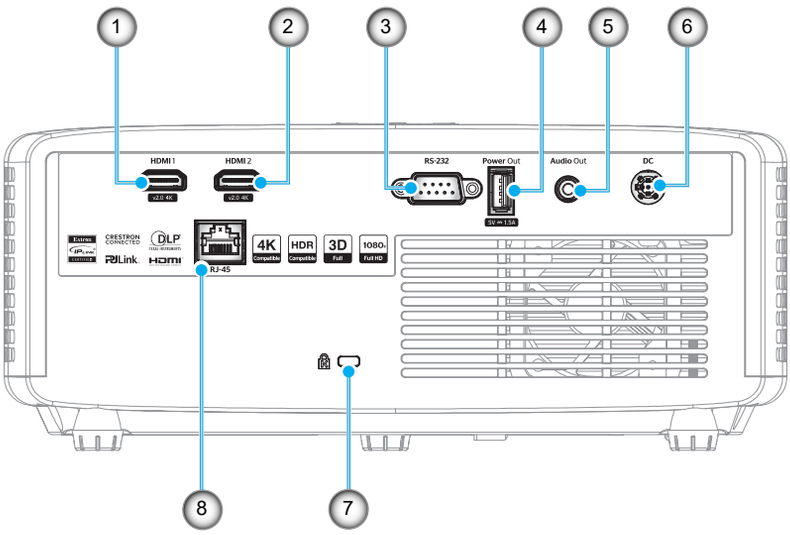
注記：

- *プロジェクターの吸排気口を塞がないでください。*
- *閉鎖したスペースでプロジェクターを動作させる場合、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。*

番号	項目	番号	項目
1.	赤外線レシーバー	7.	通気口 (吸気口)
2.	キーパッド	8.	チルト調整フット
3.	ズームレバー	9.	Kensington™ ロックポート
4.	フォーカス リング	10.	入/出力
5.	通気口 (排気口)	11.	レンズ
6.	DC ジャック		

はじめに

接続

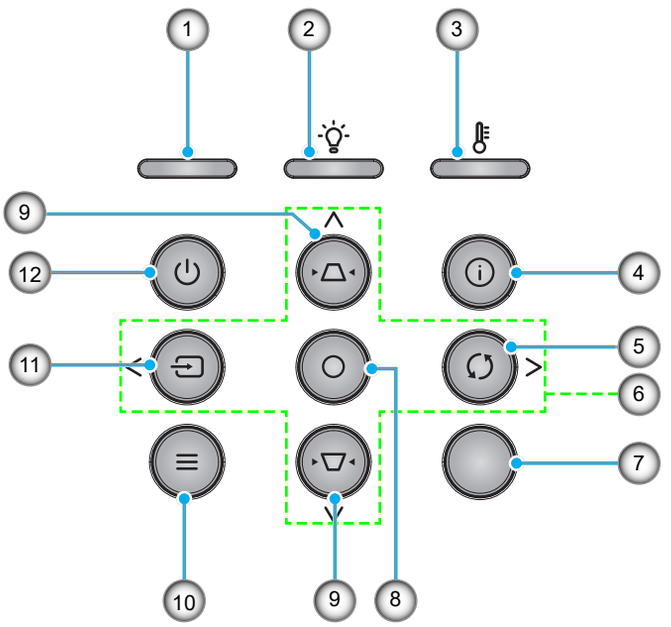


番号	項目
1.	HDMI 1 入力
2.	HDMI 2 入力
3.	RS-232
4.	USB 給電出力 (5V -1.5A)

番号	項目
5.	オーディオ出力
6.	DC ジャック
7.	Kensington™ ロック ポート
8.	RJ-45 端子

はじめに

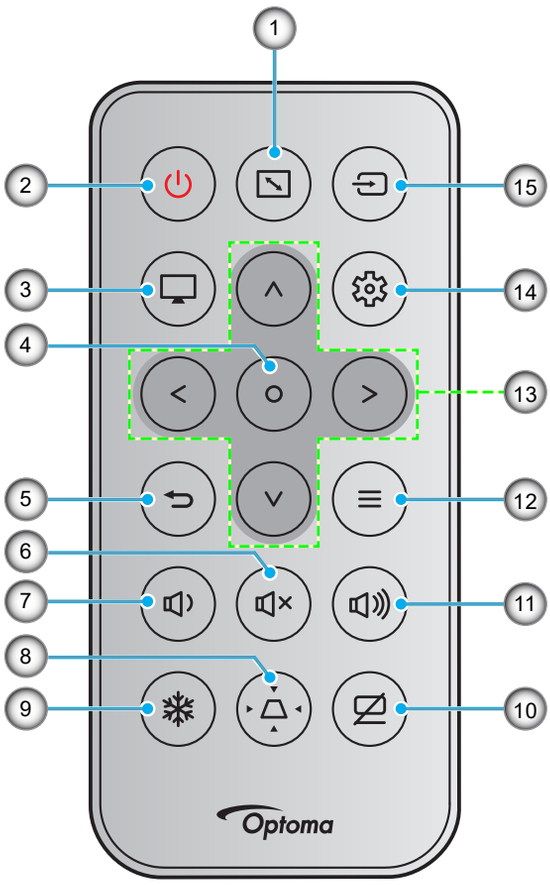
キーパッド



番号	項目	番号	項目
1.	電源 LED	7.	IR レシーバー
2.	ランプ LED	8.	入力
3.	温度 LED	9.	キーストン補正
4.	情報	10.	メニュー
5.	再同期	11.	ソース
6.	4 方向選択キー	12.	電源

はじめに

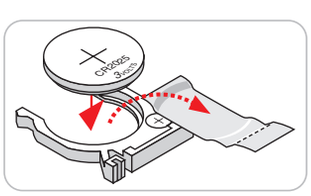
リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	アスペクト比	9.	フリーズ
2.	電源オン/オフ	10.	AV 消音
3.	モード	11.	音量 +
4.	入力	12.	メニュー
5.	戻る	13.	4 方向選択キー
6.	ミュート	14.	設定/設定メニュー
7.	音量 -	15.	ソース
8.	キーストン補正		

注記：

- *これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。*
- *初めてリモコンを使用する前に、透明の絶縁テープを剥がしてください。*
  電池の取り付けについては、19 ページ をご参照ください。

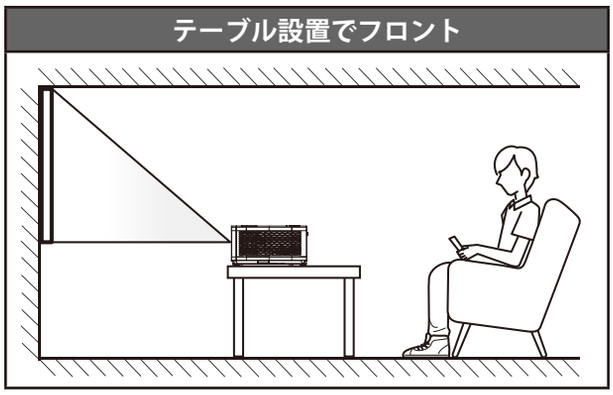


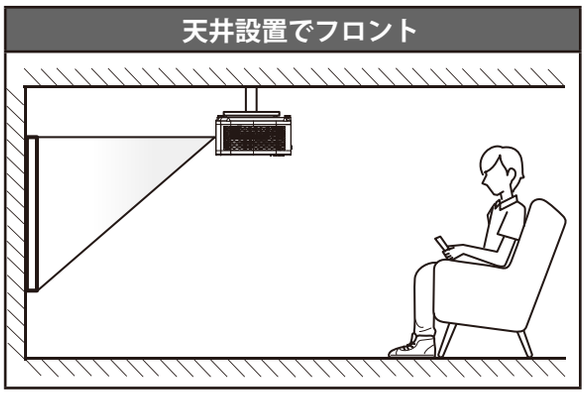
設定と設置

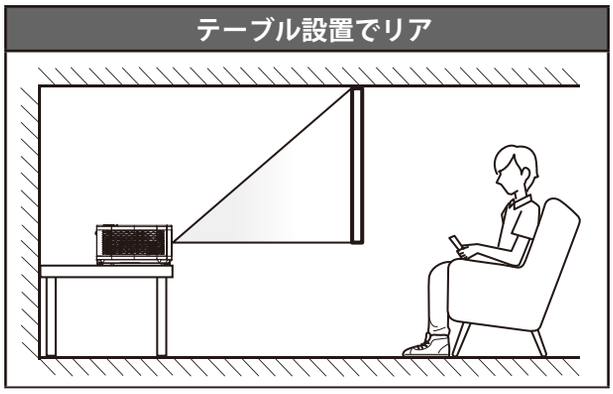
プロジェクターの設置

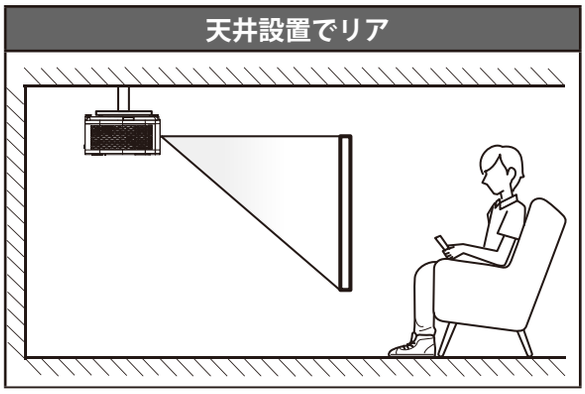
このプロジェクターは4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

お部屋のレイアウトやお好みによって設置場所を決定できます。考慮するのはスクリーンサイズと場所、適切なコンセントの場所、プロジェクターの場所や他の装置との距離などです。









プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

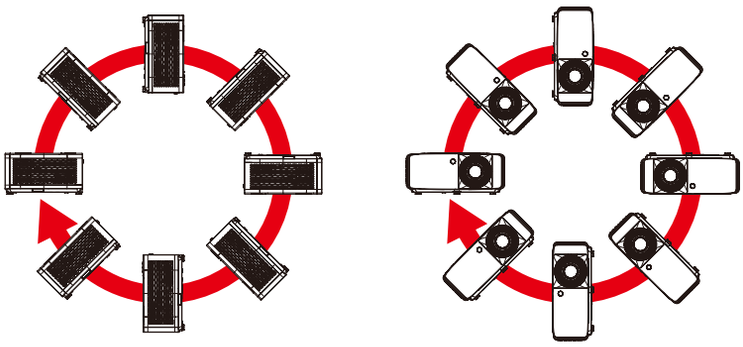
- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*59*ページの投写距離表をご参照ください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*59*ページの投写距離表をご参照ください。

注： *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

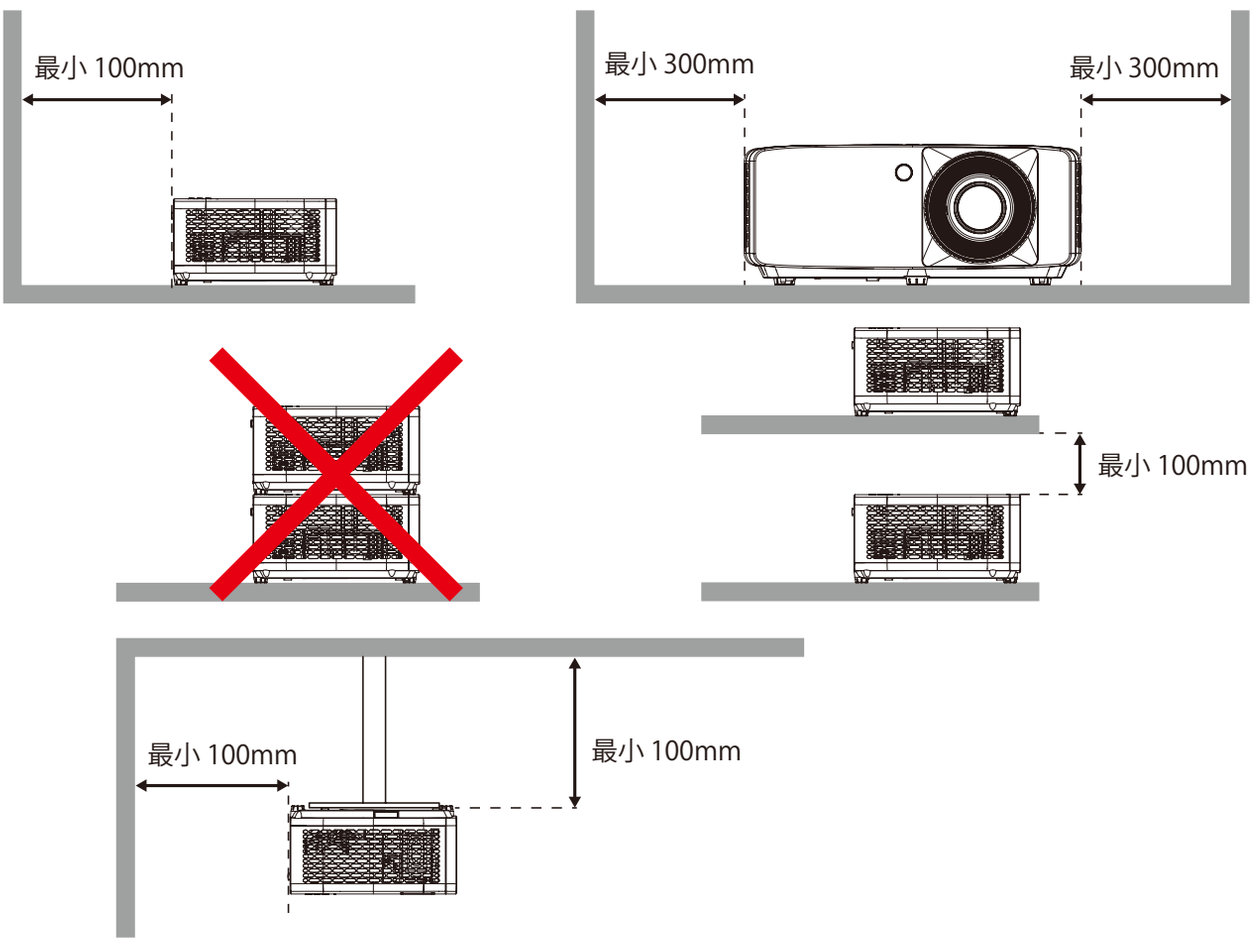
設定と設置

プロジェクターの取り付けに関する注意

- 360° の自由方向操作



- 排気口の周囲に少なくとも 30 cm のスペースを確保してください。



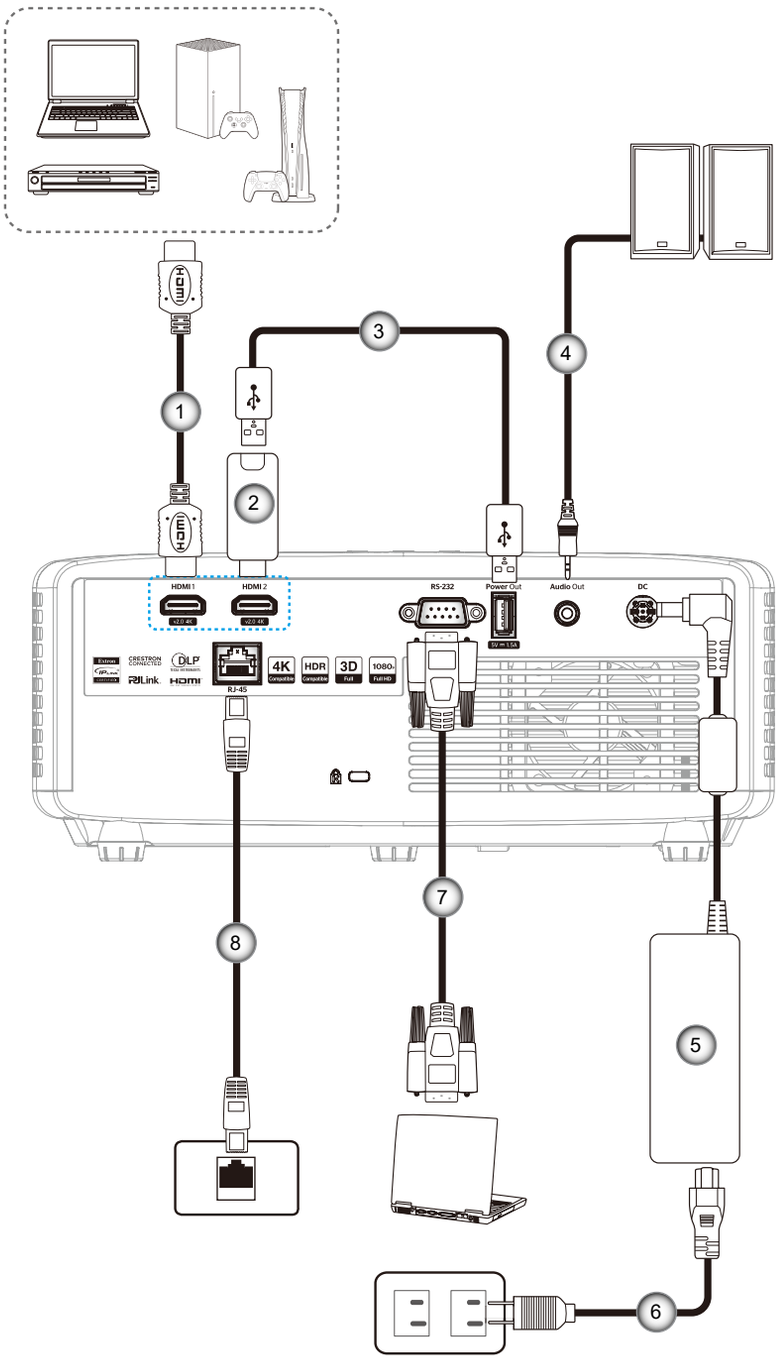
- 吸気口が排気口からの空気を吸わないよう確認してください。
- プロジェクターをエンクロージャー内で動作させる場合、プロジェクター動作中のエンクロージャー内温度が動作温度を超えないこと、吸排気口が塞がれないことを確認してください。
- 全てのエンクロージャは放熱条件を満たして、排気が循環しないようにします。これが満たされないとエンクロージャーの温度が動作温度範囲内でも装置がシャットダウンする可能性があります。
  ほこりが多い環境でご使用の場合など、環境や使用条件によっては、ほこりが吸気口付近にたまることがあります。
  それにより、本機内部の送風・冷却・排熱の循環が悪化し、明るさ低下や破損につながる恐れがあります。

お手入れについて

- 吸気口/排気口のほこりを半年から1年を目安に清掃してください。
- 内部清掃に関してはテクニカルサポートセンターにご相談ください。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目	番号	項目
1.	HDMI ケーブル	5.	電源アダプター
2.	HDMI ドングル	6.	電源ケーブル
3.	USB 電源ケーブル	7.	RS232 ケーブル
4.	オーディオ出力ケーブル	8.	RJ-45 ケーブル

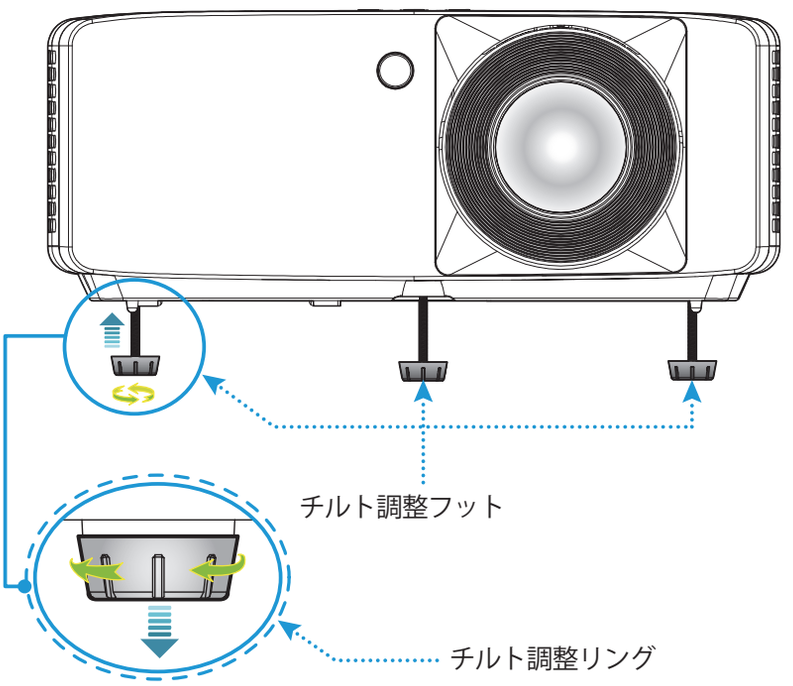
設定と設置

投写画像の調整

画像の高さ

本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

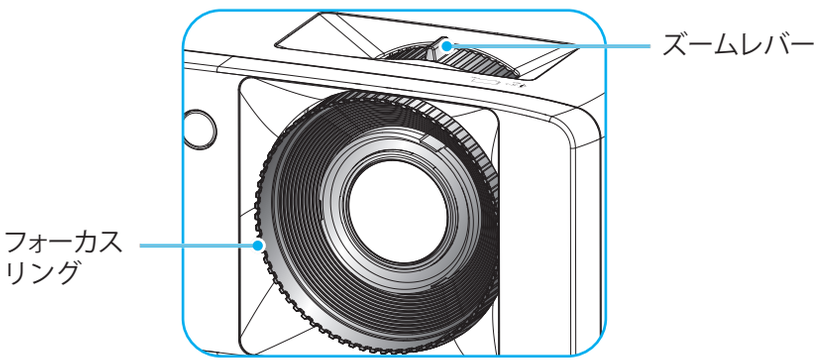
1. プロジェクターの底面にある、チルト調整フットを確認してください。
2. 調整フットを時計方向または反時計方向に回して、プロジェクターを上げ下げします。



設定と設置

プロジェクターのフォーカス調整

- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投写される画像を大きくしたり小さくします。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。

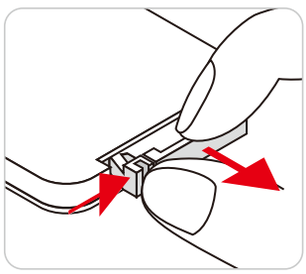


設定と設置

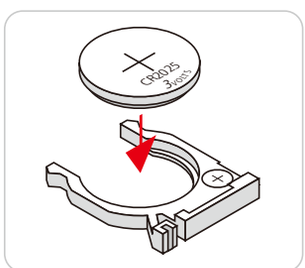
リモコンの準備

電池の取り付け/交換

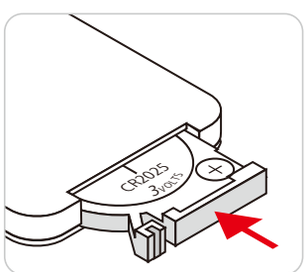
1. 電池カバーを強く押し、スライドさせて取り外します。



2. コンパートメントに新しい電池を取り付けます。古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けます (CR2025)。
「+」のある面を必ず上に向けてください。



3. カバーを元のように取り付けます。



注意： 安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

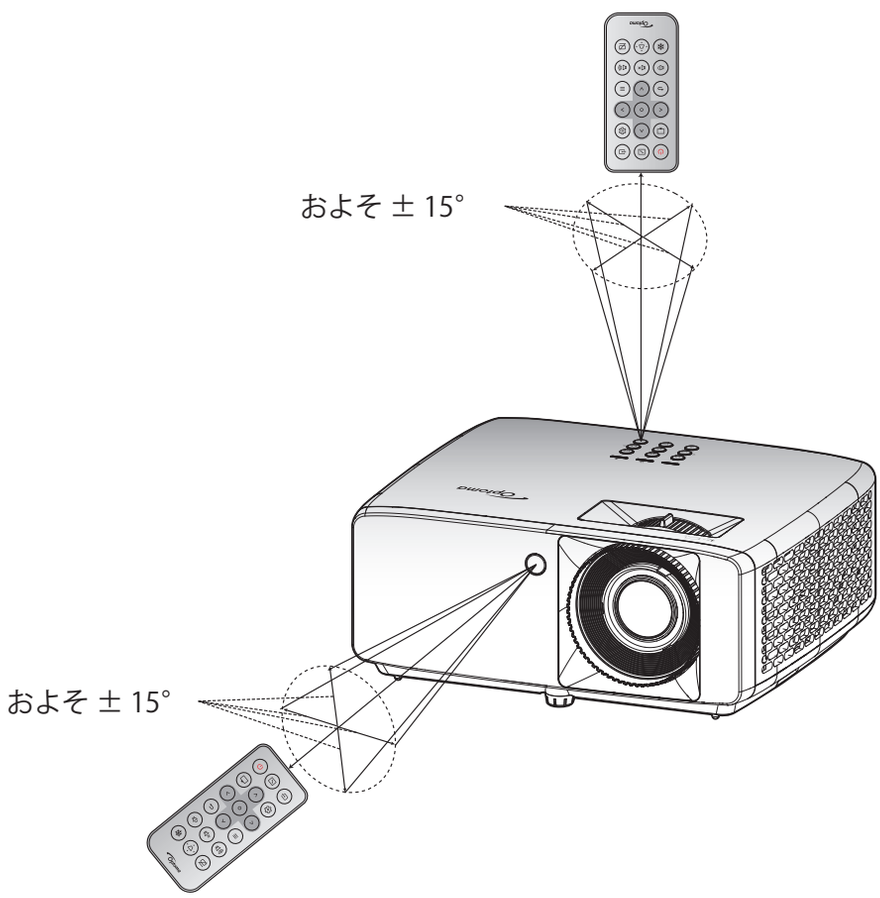
- CR2025 タイプの電池を使用してください。
- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 間違ったタイプの電池に交換すると爆発の危険性があります。
- 指示に従って、使用済電池を廃棄してください。

設定と設置

有効範囲

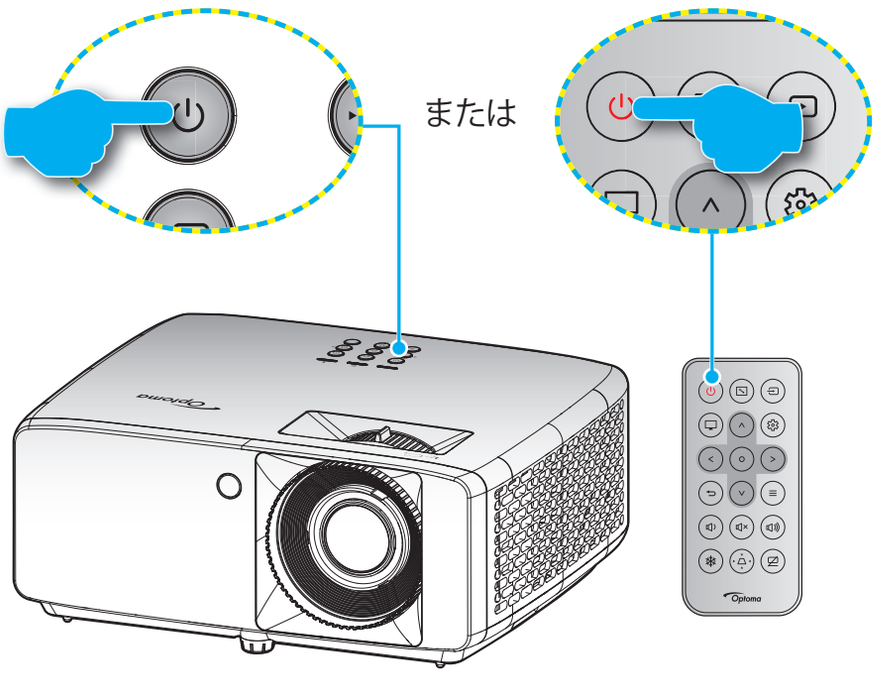
赤外線(IR)リモコンセンサーはプロジェクターの上部にあります。プロジェクターのリモコンセンサーが正しく機能するよう、リモコンはセンサーに対して垂直から30度以内の角度ご使用ください。
リモコンとセンサーの距離は、 6メートル以内にしてください。

- 赤外線ビームが届かなくなるので、リモコンとIR センサーの間には障害物がないようにしてください。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと正しく動作しない場合があります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しない場合があります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しない場合があります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



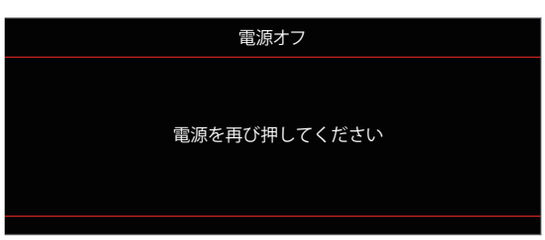
電源オン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、電源 LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドの 「⏻」 またはリモコンの 「⏻」を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒間ほど表示され、電源 LED が青色に点滅します。

注記： *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投写方向、その他の設定を行うよう求められます。*

電源オフ

1. プロジェクターをオフにするには、プロジェクターのキーパッドの 「⏻」 またはリモコンの 「⏻」 ボタンを押します。
2. 以下のメッセージが表示されます。



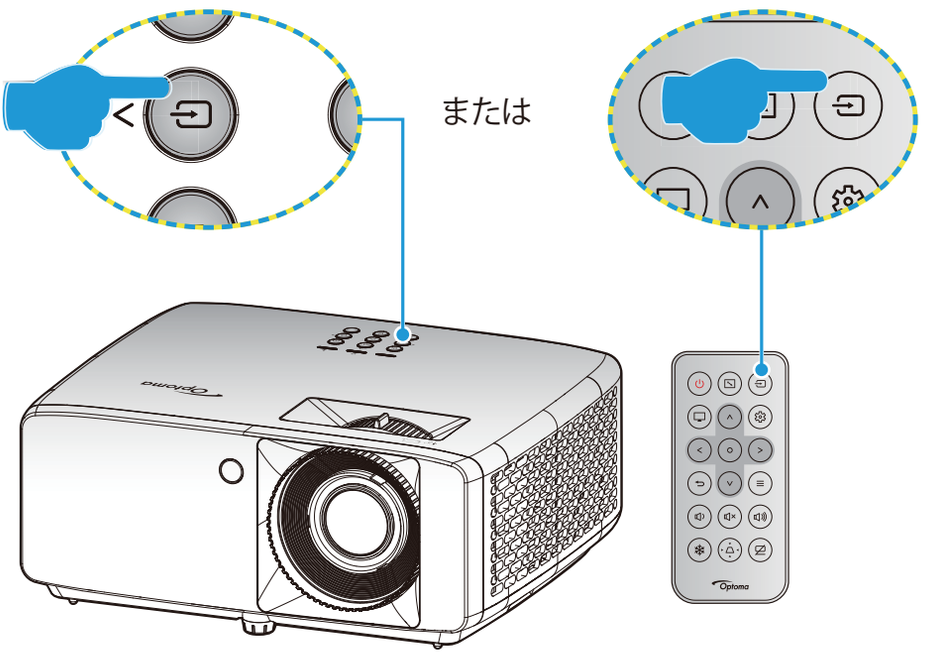
3. 「⏻/⏻」ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に 「⏻/⏻」 ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約 10 秒間作動し続けて行うと、電源 LED が青色に点滅します。電源 LEDが赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードになります。プロジェクターの電源入れ直したい場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、「⏻/⏻」 ボタンを再度押すとプロジェクターをオンにすることができます。
5. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから外します。

注記： *電源を切った直後に、プロジェクターをオンにする行為は推奨されません。*

設定と設置

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) をオンにします。
このプロジェクターは、ソースを自動検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⇥] ボタンを押して、必要な入力を選択します。

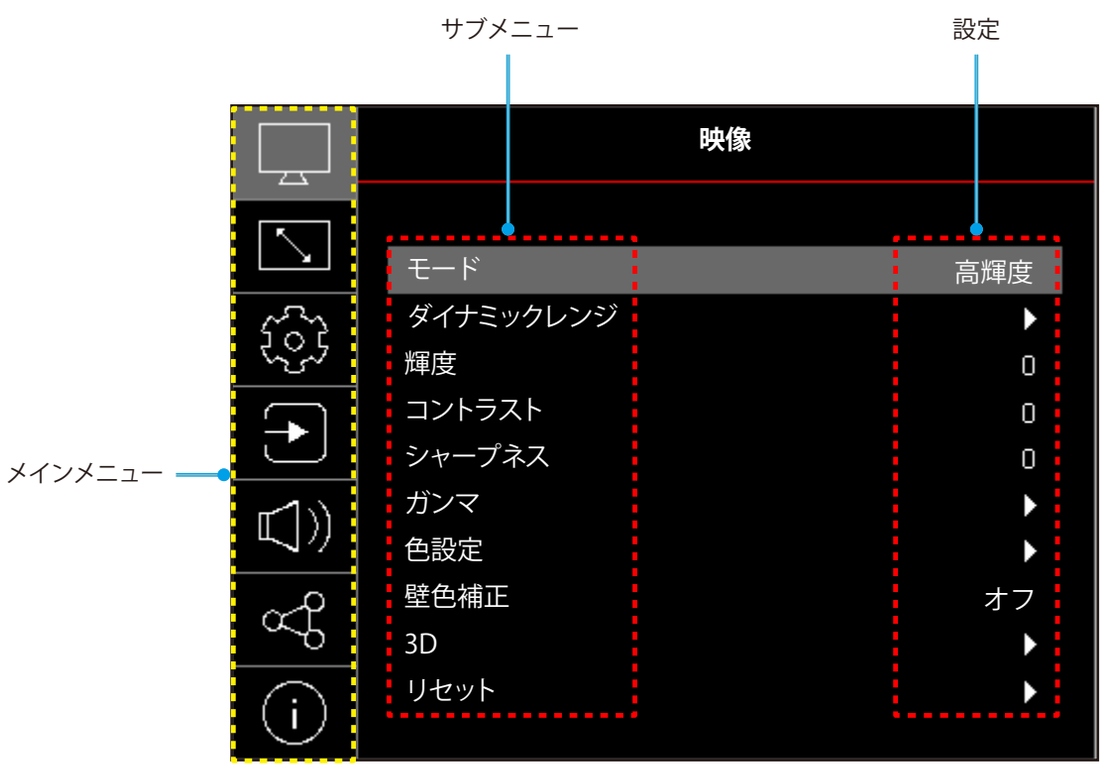


設定と設置

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターはソースを自動検知します。

1. OSDメニューを起動するには、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「≡」ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、∧/∨ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページで選択するには、リモコンの [O] ボタンを押して、サブメニューに進みます。
3. </ > キーを使って、サブメニューで希望のアイテムを選択し、[O] ボタンを押して、詳細設定を表示します。∧/∨/<>/ キーを使用して設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [O] ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [≡] ボタンを押します。OSDメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
映像	モード				ビビット
					ブライト
					HDR [HDMI2.0モデルの場合]
					HLG [HDMI2.0モデルの場合]
					シネマ
					ゲーム
					スポーツ
					リファレンス
					DICOM SIM.
					3D
	ダイナミックレンジ [HDMI2.0モデルの場合]	HDR/HLG			自動 [デフォルト]
					オフ
	輝度				-50～ 50
	コントラスト				-50～ 50
	シャープネス				1～ 15
	ガンマ				フィルム
					グラフィック
					1.8
					2.0
					2.2
					2.4
	色設定	色の濃さ			-50～ 50
		色あい			-50～ 50
		BrilliantColor™			1 ～10
		色温度			標準 [デフォルト]
					クール
					Cold
					Warm
		CMS	色の濃さ		白
					赤
					緑
					青
					シアン
					黄
					マゼンタ
			色あい		-50 ~ 50
			彩度		-50 ~ 50
			ゲイン		-50 ~ 50
			リセット		いいえ [デフォルト]
					はい
		カラースペース		HDMI 入力	自動
					RGB (0-255)
					RGB (16-235)
					YUV

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
映像	壁色補正				オフ [デフォルト]
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
	3D	3D モード			オフ
					オン
		3D 同期タイプ			DLP Link
					3D Sync
		3D-2D 変換			3D
					L
					R
		3D 映像フォーマット			自動
					Side by Side
					Top and Bottom
					Frame Sequential
					Frame Packing
		3D 同期反転			オフ
					オン
		リセット			いいえ [デフォルト]
					はい
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
ディスプレー	設置モード				フロント [デフォルト]
					リア
					天井-上部
					リア-上部
	ブライトモード				エコ [デフォルト]
				Constant Power	100% / 95% / 90% / 85% / 80% / 75% / 70% / 65% / 60% / 55% / 50%
	ダイナミックブラック				オフ [デフォルト]
					オン
	ゲーミングモード				オフ
					オン
	スクリーンタイプ				4:3
					16:9
					16:10
	アスペクト比				4:3 [アスペクト: 4:3]
					16:9 [アスペクト: 16:9]
					16:10 [アスペクト: 16:10]
					ネイティブ
					自動

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
ディスプレー	ジオメトリ補正	水平キーストン			15～ 15
		垂直キーストン			15～ 15
		4コーナー			
		リセット	全てリセット		いいえ [デフォルト]
					はい
	デジタルズーム	ズーム			5～ 25
	映像移動調整	水平			100～ 100
		垂直			100～ 100
		リセット			
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
設定	テストパターン				緑のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白のグリッド
					白
					オフ
	言語				English
					Deutsch
					Francais
					Italiano
					Español
					Português
					Polski
					Nederlands
					Svenska
					Norsk
					Dansk
					Suomi
					ελληνικά
					繁體中文
					簡体中文
					日本語 [デフォルト]
					한국어
					Русский
					Magyar
					Čeština
					عـربي
					ไทย
					Türkçe
					فارســی
					Tiếng Việt
					Bahasa Indonesia
					Româna

設定と設置

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	メニュー設定	メニュー位置			左上
					右上
					中央
					左下
					右下
		メニュータイマー			オフ [デフォルト]
					5 s
					10 s
					20 s
					30 s
		信号表示			オフ [デフォルト]
					オン
	高地モード				オフ [デフォルト]
					オン
	フィルター設定	エアフィルタ使用時間			(読み取り専用)
		エアフィルタ取付			いいえ [デフォルト]
					はい
		エアフィルタ寿命			オフ
					300 時間
					500 時間
					800 時間
					1000 時間
		エアフィルタ使用時間リセット			いいえ
					はい
	電源設定	電源検知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		信号検知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		タイマー電源オートパワーオフ(分)			0 ～ 180 (1 分の増分)
		スリープタイマー(分)			0 ～ 990 (30 分の増分)
		電源モード(スタンバイ)			エコ
					アクティブ
	セキュリティ	セキュリティ			オフ [デフォルト]
					オン
		セキュリティタイマー	月		
			日		
			時		
		パスワード変更			
	本体キー設定	キーパッドロック			オフ
					オン
	起動画面	ロゴ			デフォルト [デフォルト]
					ユーザー
					ロゴ無し

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	背景色				なし
					青
					赤
					緑
					グレー
					ロゴ
	リセット	OSDをリセット			いいえ [デフォルト]
					はい
		起動状態にリセット			いいえ [デフォルト]
					はい
入力	自動入力源				オフ [デフォルト]
					オン
	自動入力切り替え				オフ [デフォルト]
					オン
	HDMI CEC 設定	HDMI Link			オフ [デフォルト]
					オン
		モニター連動			いいえ
					はい
		電源オン設定			双方向設定
					PJ → デバイス
					デバイス → PJ
		電源オフ設定			オフ
					オン
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
オーディオ	音量				0 ～100
	ミュート				オフ [デフォルト]
					オン
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
コントロ	デバイス ID				0 ～ 99
	リモコン設定	リモコン受光設定			オン [デフォルト]
					オフ
	本体キー設定	キーパッドロック			オフ [デフォルト]
					オン
	LAN	ネットワーク情報			(読み取り専用)
		MACアドレス			(読み取り専用)
		DHCP			オフ [デフォルト]
					オン
		IPアドレス			192.168.0.100
		サブネットマスク			255.255.255.0
		ゲートウェイ			192.168.0.254
		DNS			192.168.0.51
		リセット			キャンセル [デフォルト]
					OK

設定と設置

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
コントロ	コントロール	クレストロン (ポート 41794)			オフ
					オン
		エクストロン (ポート 2023)			オフ
					オン
		PJ リンク (ポート 4352)			オフ
					オン
		AMX デバイス検出 (ポート 9131)			オフ
					オン
		Telnet (ポート 23)			オフ
					オン
		HTTP (ポート 80)			オフ
					オン
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
情報	制御				
	シリアル番号				
	入力源				
	カラー情報				
	光源時間				
	モード				
	Device ID				
	エアフィルタ使用時間				
	ブライトモード				
	FW バージョン	DDP			
		MCU			
		LAN			

設定と設置

映像メニュー

モードメニュー

さまざまな画像タイプに最適化されたいくつかのプリセット設定が用意されています。

- **ビビット**：このモードでは、彩度と輝度のバランスがうまくとられます。ゲームプレー用にこのモードを選択してください。
- **ブライト**： PC入力に対する最大輝度。
- **HDR /HLG**：ハイダイナミックレンジ (HDR)/ハイブリッドログガンマ (HLG) コンテンツを復号します。このモードは、HDR/HLG が「自動」に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR/HLGコンテンツがプロジェクターに送信されます– 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HD/HLGR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR/HLG モードが有効の場合、その他の表示モード (映画やリファレンスなど) は選択できません。これは、HDR/HLGはカラー精度が高くこれら他のモードでの密な色を再現するからです。
- **シネマ**： 映画鑑賞に最適なカラーを提供します。
- **ゲーム**： ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクターを最適化します。
- **スポーツ**： スポーツの再生を見たり、スポーツゲームをプレイしたりするためにプロジェクターを最適化します。
- **リファレンス**： このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色の濃さ、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。
- **DICOM SIM.**：このモードは、医療訓練中のX線画像および走査画像の閲覧など、グレースケール画像の確認用に開発されました。
  注記： *このプロジェクターは、医療診断での使用には適していません。*
- **3D**： 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。

ダイナミックレンジメニュー

HDR/HLG

4K Blu-rayプレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示する際のハイダイナミック範囲 (HDR)/ハイブリッドログガンマ (HLG) 設定およびその効果を構成します。

- **自動**： HDR/HLG 信号を自動検出します。
- **オフ**：HDR/HLG処理をオフにします。オフにすると、プロジェクターは HDR/HLGコンテンツを復号しません。

輝度メニュー

画像の輝度を調整します。

設定と設置

コントラストメニュー

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネスメニュー

画像のシャープネスを調整します。

ガンマメニュー

ガンマ曲線のタイプを設定します。初期設定および微調整が完了したら、ガンマ調整を利用して画像出力を最適化にします。

- **フィルム**： ホームシアター用。
- **グラフィック**： PC/写真ソース用。
- **1.8/2.0/2.2/2.4**： 特定の PC / 写真ソース用。
- **EOTF-非表示/3D-非表示**： HDR ソースに最適です。

色設定メニュー

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。

色温度

色温度をWarm、標準、クール、Coldから選択します。

CMS

次のオプションを選択します：

- 色の濃さ： 画像の赤(R)、緑(G)、青(B)、シアン(C)、黄(Y)、マゼンタ(M)、白(W)レベルを調整します。
- 色あい： 赤と緑のカラーバランスを調整します。
- 彩度：ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
- ゲイン：画像の輝度を調整します。
- リセット： カラーマッチングを工場デフォルト値に戻します。

カラースペース

以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します： 自動、RGB (0-255)、RGB (16-235) および YUV。

壁色補正メニュー

この機能を使用すると、壁の色に応じて最適な映像が選択できます。
オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

注記：正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。

設定と設置

3Dメニュー　※

注記：

- このプロジェクターは、DLPリンク3Dソリューションを備えた3D対応プロジェクターです。
- ビデオ鑑賞の前に、お持ちの3Dメガネが DLPリンク3D用であることを確認してください。
- このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2ポート経由で、Frame Sequential (ページフリップ) 3Dに対応します。
- 3Dモードを有効にするには、入力フレームレートは60Hzのみが可能で、これ以外のフレームレートには対応しません。
- 最適な映像を実現するには、解像度1920x1080がお勧めです。4K (3840x2160) 解像度は3Dモードでは、対応していません。

3Dモード

このオプションを利用し、3D機能を有効または無効にします。

- **オフ**：「オフ」を選択すると、3Dモードがオフになります。
- **オン**：「オン」を選択すると、3Dモードがオンになります。

3D同期タイプ

このオプションを使用して、3D技術を選択します。

- **DLPリンク**：DLP 3Dメガネの最適設定を使用するにはこれを使用します。
- **3D同期**：IR、RFまたは偏光3Dメガネ用に最適化された設定を使用するために選択します。

3D-2D変換

このオプションを使用して、3Dコンテンツがスクリーンに表示する方法を選択します。

- **3D**：3D信号を表示します。
- **L (左)**：3Dコンテンツの左フレームを表示します。
- **R (右)**：3Dコンテンツの右フレームを表示します。

3D映像フォーマット

このオプションを使用して、適切な3D形式のコンテンツを選択します。

- **自動**：3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。
- **Side by Side**：3D信号を「Side by Side」形式で表示します。
- **Top and Bottom**：3D信号を「Top and Bottom」形式で表示します。
- **Frame Sequential**：3D信号を「Frame Sequential」形式で表示します。
- **Frame Packing**： 3D信号を「Frame Packing」形式で表示します。

3D同期反転

このオプションを使用して、3D同期反転機能をオン・オフします。

リセット

3D設定を工場デフォルト値に戻します。

- **いいえ**：リセットをキャンセルするために選択します。
- **はい**：3D設定を工場出荷時設定に戻すために選択します。

リセットメニュー

映像設定を工場デフォルト値に戻します。

※　**日本モデルは3Dに対応していません。**

設定と設置

ディスプレーメニュー

設置モードメニュー

フロント、リア、天井 - 上部、リア- 上部から必要な投写方法を選択します。

ブライトモードメニュー

設置要件に応じて、ブライトモードを選択してください。

ダイナミックブラックメニュー

最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。

ゲーミングモードメニュー

ゲーム中にこの機能を有効にして、応答時間 (入力待機時間) を 8.6 ミリ秒 (1080p@120Hz) に低減します。
すべてのジオメトリ補正 (例： キーストン、4コーナー) は、ゲーミングモードが有効であるとき、無効になります。
詳細については、以下をご覧ください。

注記：

- *信号による入力ラグは、次の表に記載する通りです。*
- *表の値は若干変動する場合があります。*

ソースタイミング	ゲーミングモード	出力タイミング	出力解像度	入力遅延
1080p60	オン	1080p60Hz	1080p	17 ミリ秒
1080p120	オン	1080p120Hz	1080p	8.6 ミリ秒
4K60	オン	1080p60Hz	1080p	17 ミリ秒
1080p60	オフ	1080p60Hz	1080p	33.8 ミリ秒
1080p120	オフ	1080p120Hz	1080p	17 ミリ秒
4K60	オフ	1080p60Hz	1080p	33.7 ミリ秒

アスペクトメニュー

画面タイプを 4:3、16:9 および 16:10 から選択します。

アスペクト比メニュー

以下のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します：

- **4:3**： この形式は、4:3 入力ソース用です。
- **16:9**： この形式はHDTVおよびDVD対応のようなワイドスクリーンでの16:9 入力ソース用です。
- **16:10**： この形式はワイドスクリーンやノートパソコンなど16:10 入力ソース用です。
- **ネイティブ**：この形式はスケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動**： 適切な表示形式が自動的に選択されます。

XGAスケーリングテーブル：

ソース	480i/p	576i/p	1080i/p	720p
4:3	1024x768 にスケーリングします。			
16:9	1024x576 にスケーリングします。			
ネイティブ	スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。			
自動	- ソースが 4:3 の場合、画面タイプは自動的に1024x768 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、画面タイプは自動的に1024x576 にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 の場合、画面タイプは自動的に1024x614 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、スクリーンタイプは1024x640 にスケーリングされます。			

XGA 自動マッピングルール：

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1024	768
4:3	640	480	1024	768
	800	600	1024	768
	1024	768	1024	768
	1600	1200	1024	768
ワイドノート PC	1280	720	1024	576
	1280	768	1024	614
	1280	800	1024	640
SDTV	720	576	1024	576
	720	480	1024	576
HDTV	1280	720	1024	576
	1920	1080	1024	576

設定と設置

WXGA スケーリングテーブル (スクリーンタイプ 16:10)：

16:10 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1066x800 にスケーリングします。				
16:10	1280x800 にスケーリングします。				
LBX	1280x960 にスケーリングし、その後、中央の1280x800 画像を表示します。				
ネイティブ	1:1 中央にマッピング。		1:1 マッピング、1280x800 を表示。	1280x720 中央揃え。	1:1 中央にマッピング。
自動	- 入力ソースは1280x800表示に合わせて調整され、アスペクト比はもとの比率を保ちます。 - ソースが4:3 の場合、画面タイプは自動的に1066x800 にサイズ変更されます。 - ソースが16:9 の場合、画面タイプは自動的に1280x720 にサイズ変更されます。 - ソースが15:9 の場合、画面タイプは自動的に1280x768 にサイズ変更されます。 - ソースが16:10 の場合、スクリーンタイプは1280x800 にスケーリングされます。				

WXGA 自動マッピング規則 (スクリーンタイプ 16:10)：

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1280	800
4:3	640	480	1066	800
	800	600	1066	800
	1024	768	1066	800
	1280	1024	1066	800
	1400	1050	1066	800
	1600	1200	1066	800
ワイドノート PC	1280	720	1280	720
	1280	768	1280	768
	1280	800	1280	800
SDTV	720	576	1280	720
	720	480	1280	720
HDTV	1280	720	1280	720
	1920	1080	1280	720

WXGA スケーリングテーブル (スクリーンタイプ 16:9)：

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	960x720 にスケーリングします。				
16:9	1280x720 にスケーリングします。				
LBX	1280x960 にスケーリングし、その後、中央の1280x720 画像を表示します。				
ネイティブ	1:1 中央にマッピング。		1:1 マッピング、1280x720 を表示。	1280x720 中央揃え。	1:1 中央にマッピング。
自動	- 自動フォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1280x720) になります。 - ソースが4:3 の場合、画面タイプは自動的に960x720 にサイズ変更されます。 - ソースが16:9 の場合、画面タイプは自動的に1280x720 にサイズ変更されます。 - ソースが15:9 の場合、画面タイプは自動的に1200x720 にサイズ変更されます。 - ソースが16:10 の場合、スクリーンタイプは1152x720 にスケーリングされます。				

WXGA 自動マッピング規則 (スクリーンタイプ 16:9)：

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1280	720
4:3	640	480	960	720
	800	600	960	720
	1024	768	960	720
	1280	1024	960	720
	1400	1050	960	720
	1600	1200	960	720
ワイドノート PC	1280	720	1280	720
	1280	768	1200	720
	1280	800	1152	720
SDTV	720	576	1280	720
	720	480	1280	720
HDTV	1280	720	1280	720
	1920	1080	1280	720

1080p スケーリングテーブル：

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1440x1080 にスケーリングします。				
16:9	1920x1080 にスケーリングします。				
LBX	1920x1440 にスケーリングし、その後、中央の 1920x1080 画像を表示します。				
ネイティブ	- 1:1 中央にマッピング。 - スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。				
自動	- 自動フォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1920x1080) になります。 - ソースが4:3 の場合、スクリーンタイプは1440 x1080 にスケーリングされます。 - ソースが16:9 の場合、画面タイプは自動的に1920x1080 にサイズ変更されます。 - ソースが16:10 の場合、画面タイプは1920x1200 にサイズ変更され、表示する 1920x1080 の領域が切り取られます。				

1080p 自動マッピング規則：

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1920	1080
4:3	640	480	1440	1080
	800	600	1440	1080
	1024	768	1440	1080
	1280	1024	1440	1080
	1400	1050	1440	1080
	1600	1200	1440	1080
ワイドノート PC	1280	720	1920	1080
	1280	768	1800	1080
	1280	800	1728	1080
SDTV	720	576	1350	1080
	720	480	1620	1080
HDTV	1280	720	1920	1080
	1920	1080	1920	1080

設定と設置

ジオメトリ補正メニュー

水平キーストン

水平方向の画像の歪みを調整し、より正方形に近づけます。水平キーストンは、画像左右の境界長さが異なる場合にキーストン画像を補正するのに使用されます。これは水平軸上のアプリケーションを対象とします。

垂直キーストン

垂直方向の画像の歪みを調整し、より正方形に近づけます。垂直キーストンは、画像の上下が片側に傾いている場合にキーストン画像を補正するのに使用されます。これは垂直軸上アプリケーションを対象とします。

4コーナー調整

画像を4コーナーの x および y 位置で指定された範囲に収まるように伸縮させます。

リセット

ジオメトリ補正の設定を工場デフォルト値に戻します。

デジタルズームメニュー

スクリーンに投写された画像を縮小または拡大します。

注記： *ズーム設定はプロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。*

映像移動調整メニュー

投写画像を水平 (H) または垂直 (V) 方向で調整します。

リセットメニュー

ディスプレー設定を工場デフォルト値に戻します。

設定と設置

設定メニュー

テストパターンメニュー

テストパターンを緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白グリッド、白から選択するか、この機能を無効にします。

言語メニュー

多言語OSDメニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、フィンランド語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語、ハンガリー語、チェコスロバキア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ペルシア語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語から選択します。

メニュー設定メニュー

メニュータイマー

OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

信号表示

情報メッセージを非表示にする機能です。

高地モードメニュー

「オン」が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

フィルター設定メニュー

エアフィルタ使用時間

エアフィルタ使用時間を表示します。

エアフィルタ取付

警告メッセージを設定します。

- **はい：**使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。

注記： 「エアフィルタ使用時間 / エアフィルタ寿命 / エアフィルタ使用時間リセット」は、「エアフィルタ取付」が「はい」のときにのみ表示されます。

- **いいえ：**警告メッセージはオフになります。

エアフィルタ寿命

エアフィルター交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージを表示または非表示にするかを設定できます。使用可能なオプションは、オフ、300 時間、500 時間、800 時間、1000 時間 があります。

エアフィルタ使用時間リセット

エアフィルターを交換または洗浄した後に、エアフィルターカウンターをリセットしてください。

設定と設置

電源設定メニュー

電源検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの 「電源」 キーを押す必要はありません。

信号検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、信号探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注記：

- 「信号検知オートパワーオン」 オプションが 「オン」 の場合、スタンバイモードでのプロジェクターの消費電力は3Wを超えます。
- この機能はHDMIソースに適用されます。

タイマー電源オートパワーオフ(分)

秒読みタイマーの時間を設定します。プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウン終了後、自動的にプロジェクターの電源が切れます(単位は分です)。

スリープタイマー (分)

スリープタイマーの時間を設定します。プロジェクターに入力される信号の有無に関わらず、秒読みタイマーが起動します。カウントダウン終了後、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

注記：スリープタイマーは、プロジェクターの電源をオフになる度にリセットされます。

電源モード (スタンバイ)

電源モードを設定します。

- **エコ：**エコを選択すると、節電モードになります(<0.5W)。
- **アクティブ：** アクティブを選択すると通常スタンバイに戻ります。

セキュリティ設定メニュー

セキュリティ

この機能を有効にすると、プロジェクター使用前にパスワード入力が求められます。

- **オン：**「オン」 を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。
- **オフ：**「オフ」 を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクタの電源を入れることができます。

注記： デフォルトのパスワードは「1234」です。

セキュリティタイマー

日時(月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターを使用する時間数が設定できます。設定した時間を経過すると、再度パスワードを入力するよう要求されます。

パスワードの変更

プロジェクターの電源をオンする際、パスワードの設定または変更するために使用します。

本体キー設定メニュー

キーパッドロック

キーパッドロック機能が「オン」であるとき、キーパッドがロックされます。リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

設定と設置

起動画面メニュー

ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト：**デフォルトの起動画面です。
- **ユーザー：**ロゴをキャプチャするツールが必要です。
- **ロゴ無し：**起動画面にロゴは表示されません。

背景色メニュー

この機能を使って、利用可能な信号がないとき、青、赤、緑、グレー、ロゴ、なしの画面を表示します。

注記： 背景色が 「なし」に設定されている場合、背景色は黒になります。

リセットメニュー

OSDをリセット

OSD メニューの設定を工場デフォルト値に戻します。

起動状態にリセット

すべての設定を工場デフォルト値に戻します。

設定と設置

入力メニュー

自動入力源メニュー

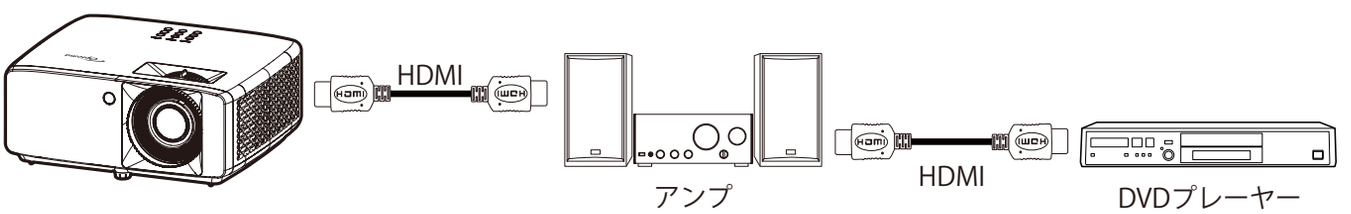
このオプションを選択するとプロジェクターが利用可能な入力源を自動検出します。

自動入力切り替えメニュー

HDMI 入力信号が検出されると、プロジェクターは自動的に入力ソースを切り替えます。

HDMI CEC 設定メニュー

注記： HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクターの OSDで HDMI Linkコントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。
これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。



HDMI Link

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。

モニター連動

設定が「はい」に設定されている場合は、電源オンおよび電源オフのリンクオプションを使用できます。

電源オン設定

CEC 電源オンコマンド。

- **双方向設定：**プロジェクターとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- **PJ→デバイス：**プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **デバイス→PJ：**CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

電源オフ設定

この機能を有効にして、HDMI リンクとプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

リセットメニュー

入力メニューを工場デフォルト値に戻します。

オーディオメニュー

音量メニュー

音量レベルを調整します。

ミュートメニュー

このオプションを使って、一時的にマイクをオフに切り替えます。

- **オン：**「オン」を選択して、マイクをオンに切り替えます。
- **オフ：**「オフ」を選択して、マイクをオフに切り替えます。

注記：「ミュート」機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。

リセットメニュー

オーディオ設定を工場デフォルト値に戻します。

設定と設置

コントロメニュー

デバイス ID メニュー

メニュー を使用して、ID 定義(0〜99まで) を設定できます。これにより、ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

リモコン設定メニュー

リモコン受光設定

リモコン受光設定を行います。

- **オン：**「オン」を選択すると、プロジェクターの上部および前面 IR レシーバーに向けてリモコンで操作できます。
- **オフ：**「オフ」 を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できません。「オフ」を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

本体キー設定メニュー

キーパッドロック

キーパッドロック機能が「オン」の場合、キーパッドはロックされます。それでも、プロジェクターはリモコンで操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

LAN メニュー

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

ネットワーク情報

ネットワーク接続情報を表示します。(読み取り専用)

MACアドレス

MACアドレスを表示します。(読み取り専用)

DHCP

このオプションを使用してDHCP機能を有効または無効にします。

・**オフ**：IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイおよびDNS構成を手動で割当てます。

・**オン**：プロジェクターは使用されるネットワークからIPアドレスを自動取得します。

IP アドレス

プロジェクターの IP アドレスを表示します。

サブネットマスク

プロジェクターのサブネットマスク番号を選択します。

ゲートウェイ

プロジェクターに接続されるネットワークのゲートウェイを表示します。

DNS

プロジェクターのDNS番号を表示します。

設定と設置

Webブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法

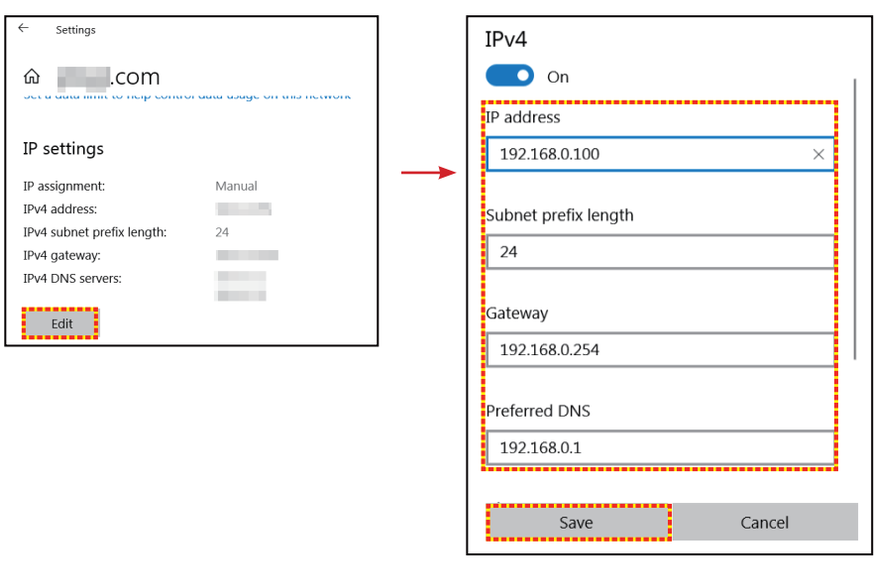
1. プロジェクターのDHCPオプションを 「オン」DHCP サーバーが自動的に IP アドレスを割り当てられるようになります。
2. コンピューターでWebブラウザーを開き、プロジェクターの IP アドレス（「コントロール > LAN > IP アドレス」）を入力します。
3. ユーザー名とパスワードを入力してから、「ログイン」をクリックします。
   プロジェクターの設定、Webインターフェイスが開きます。

注記：

- ログイン後にユーザー名およびパスワードを変更する必要があります。強度のあるパスワードの使用をお勧めします。既定のユーザー名とパスワードは「admin」です。
- このセクションの手順は、Windows 10オペレーティングシステムに基づいています。

お持ちのコンピューターからプロジェクターに直接接続する場合

1. プロジェクターのDHCPオプションを 「オフ」にします。
2. プロジェクター(「コントロール > LAN」)で IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を構成します
3. コンピューターの「***ネットワークとインターネット***」ページを開き、プロジェクターと同一のネットワークパラメーターをコンピューターに割り当てます。
   「OK」 をクリックしてパラメーターを保存します。



4. コンピューターで Webブラウザを開いて、手順 3 で割り当てた IP アドレスを アドレスバーに入力し、「Enter」キーを押します。

リセット

ネットワーク設定を工場デフォルト値に戻します。

設定と設置

コントロールメニュー

このプロジェクターは、有線ネットワーク接続を介してコンピューターまたはその他の外部デバイスからリモートで制御できます。ユーザーは、リモートコントロールセンターから 1 つまたは複数のプロジェクターを制御できます。たとえば、プロジェクターの電源のオン/オフ、画像の明るさやコントラストの調整などです。
コントロールサブメニューを使用して、プロジェクターのコントロールデバイスを選択します。

Crestron

この機能でネットワーク機能を選択します。(ポート：41794)
詳細については、http://www.crestron.com にアクセスしてください。

Extron

デバイスでプロジェクターを制御します。(ポート：2023)
詳細については、http://www.extron.com にアクセスしてください。

PJ Link

PJLink v2.0 コマンドでプロジェクターを制御します。(ポート：4352)
詳細については、http://pjlink.jbmia.or.jp/english にアクセスしてください。

AMX デバイス検出

AMX デバイスでプロジェクターを制御します。(ポート：9131)
詳細については、http://www.amx.com にアクセスしてください。

Telnet

Telnet 接続を介して RS232 コマンドを使用してプロジェクターを制御します。(ポート：23)
詳細については、「[RS232 by Telnet] 機能」(53 ページ) を参照してください。

HTTP

Web ブラウザーでプロジェクターを制御します。(ポート：80)
詳細については、「Web ブラウザを使用してプロジェクターをコントロールする方法」(44 ページ) を参照してください。

注記：

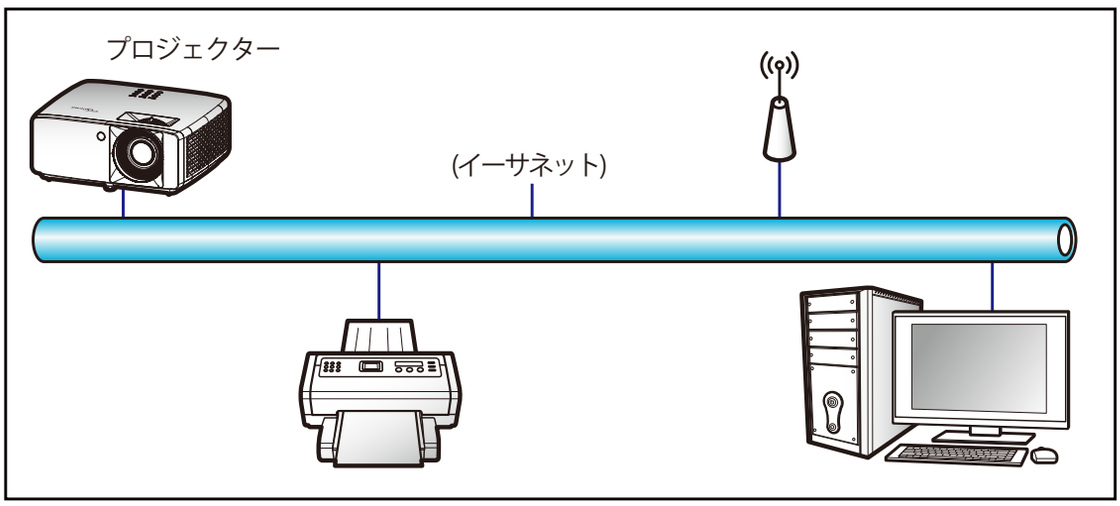
- *Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。*
- *Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。*
- *AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。*
- *PJLink は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。*
- *LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する情報については、テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。*

設定と設置

コントロール設定メニュー

LAN_RJ45 機能

シンプルで簡単な操作ができるよう、プロジェクターは各種ネットワーク機能およびリモート管理機能を備えています。プロジェクターのLAN/RJ45 機能では、ネットワークを介して電源のオン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定などをリモート管理できます。また、ビデオソース、消音などのプロジェクターのステータス情報を表示することもできます。



有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、LAN/RJ45 ポートと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJLink を介して制御できます。

- Crestron、は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extronは、米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMXは、米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJ Linkは、JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは、Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

http://www.crestron.com/

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

http://www.extron.com/

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

http://www.amx.com/

このプロジェクターは PJLink Class1 (バージョン 1.00) の全コマンドに対応しています。

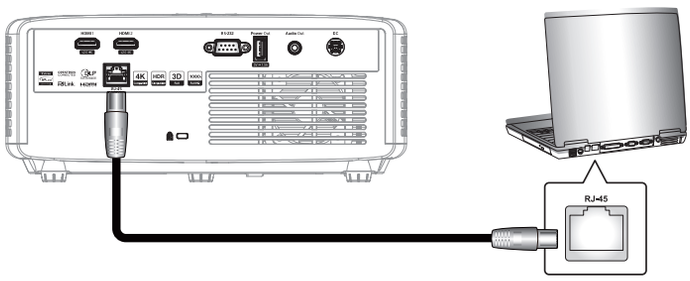
http://pjlink.jbmia.or.jp/english/

LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する詳細については、テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

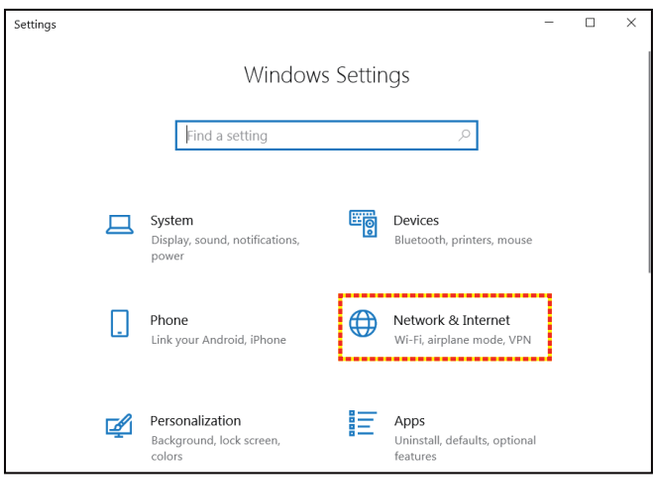
設定と設置

LAN RJ45

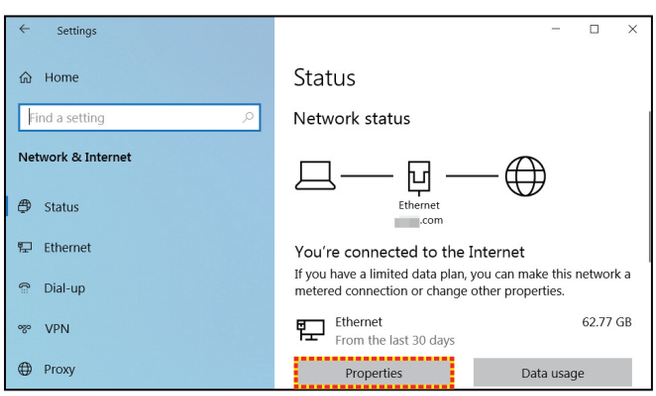
1. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに RJ45 ケーブルを接続します。



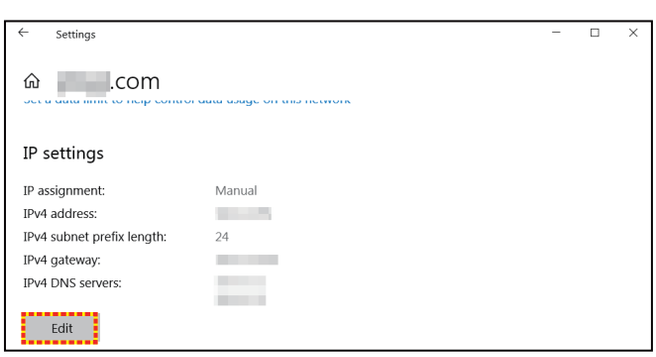
2. PC (ラップトップ) で、**[スタート]** > **[設定]** > **[ネットワークとインターネット]** を選択します。



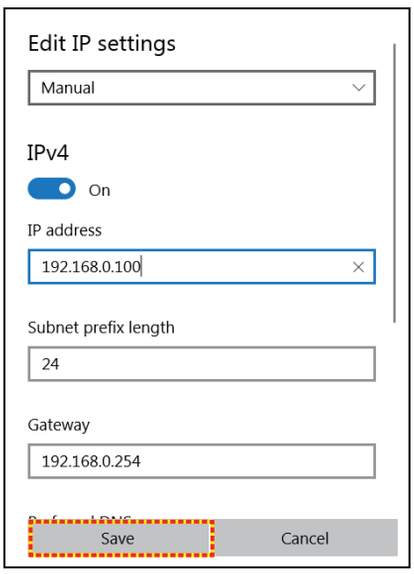
3. **[イーサネット]** セクションで、**[プロパティ]** を選択します。



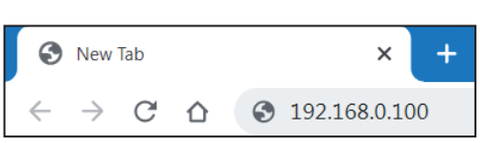
4. **[IP 設定]** セクションで、**[編集]** を選択します。



5. IP アドレスとゲートウェイを入力し、[保存] を選択します。



6. プロジェクターの [メニュー] ボタンを押します。
7. プロジェクターで **コントロール** > **LAN** の順に開きます。
8. 次の接続パラメーターを入力します。
   - DHCP: オフ
   - IP アドレス: 192.168.0.100
   - サブネットマスク: 255.255.255.0
   - ゲートウェイ: 192.168.0.254
   - DNS: 192.168.0.51
9. [Enter] を押し、設定を確定します。
10. Adobe Flash Player 9.0 以降がインストールされたMicrosoft EdgeまたはChrome などの Webブラウザーを開きます。
11. アドレスバーに、プロジェクターの IP アドレス (192.168.0.100) を入力します。

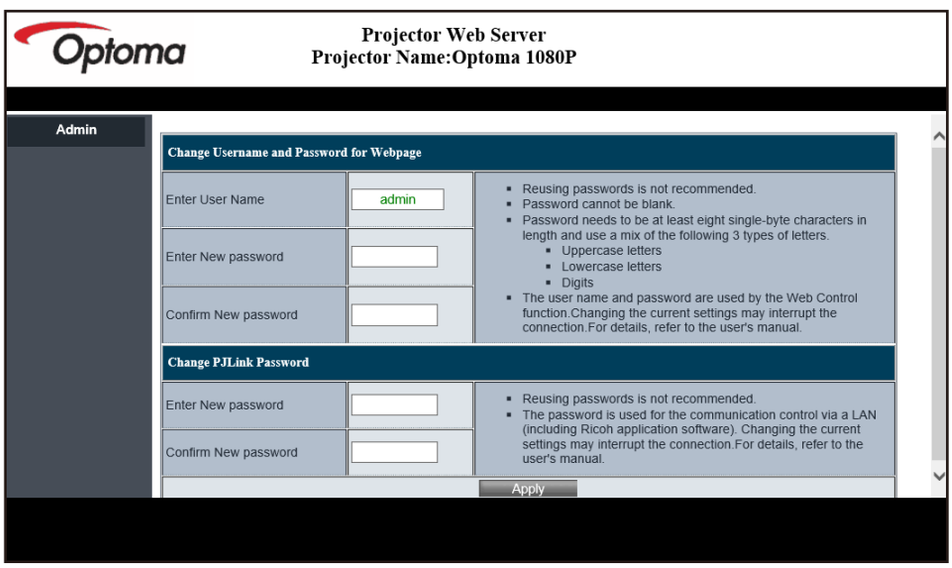


12. [Enter] を押します。

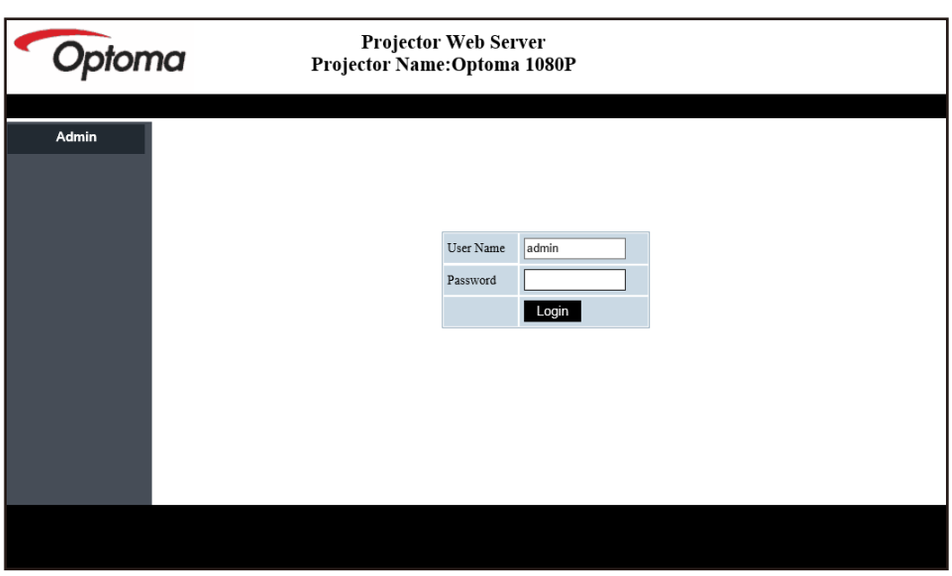
このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。

ログイン

初めて Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。
有効なユーザーパスワードを入力してください。

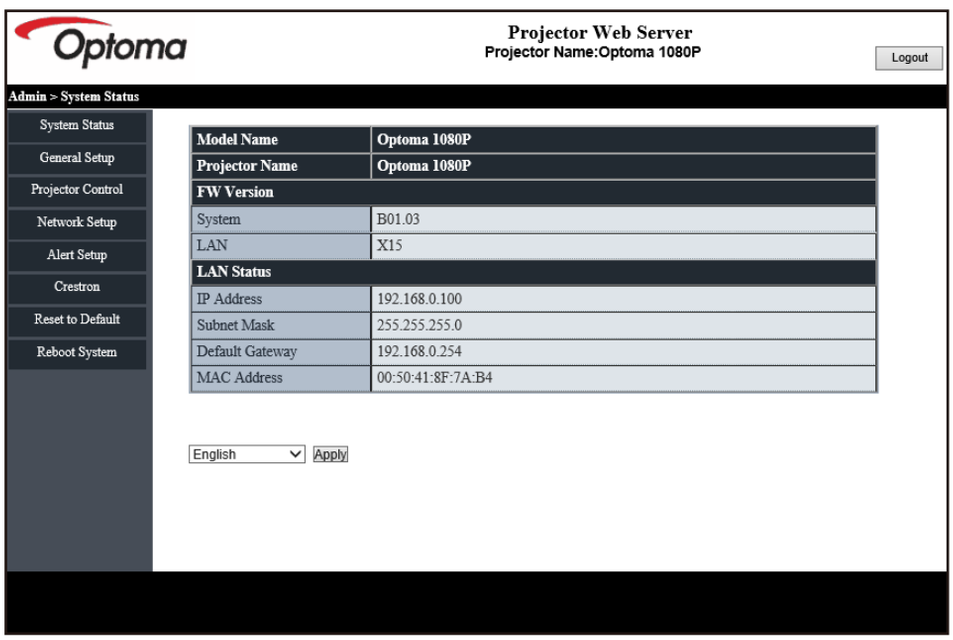


有効なパスワードを入力して Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。[パスワード] フィールドにパスワードを入力します。



システムステータス

プロジェクターの現在のステータスが表示されます。プロジェクターのモデル名、ファームウェアのバージョン、現在のLAN構成を確認し、必要に応じてインターフェイス言語を変更できます。
図中のWebページに表示されるバージョン名は、実際の表示と異なる場合があります。

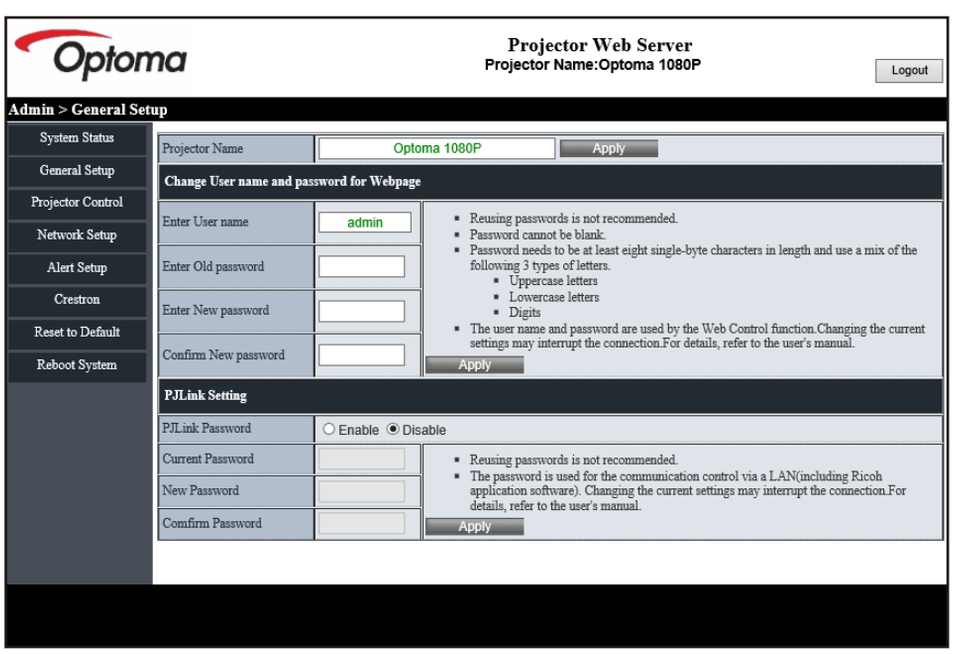


一般設定

ここで設定したプロジェクター名はPJLink制御でも使用されます。プロジェクター名として使用できるのは英数字のみです。最大文字数は32文字です。

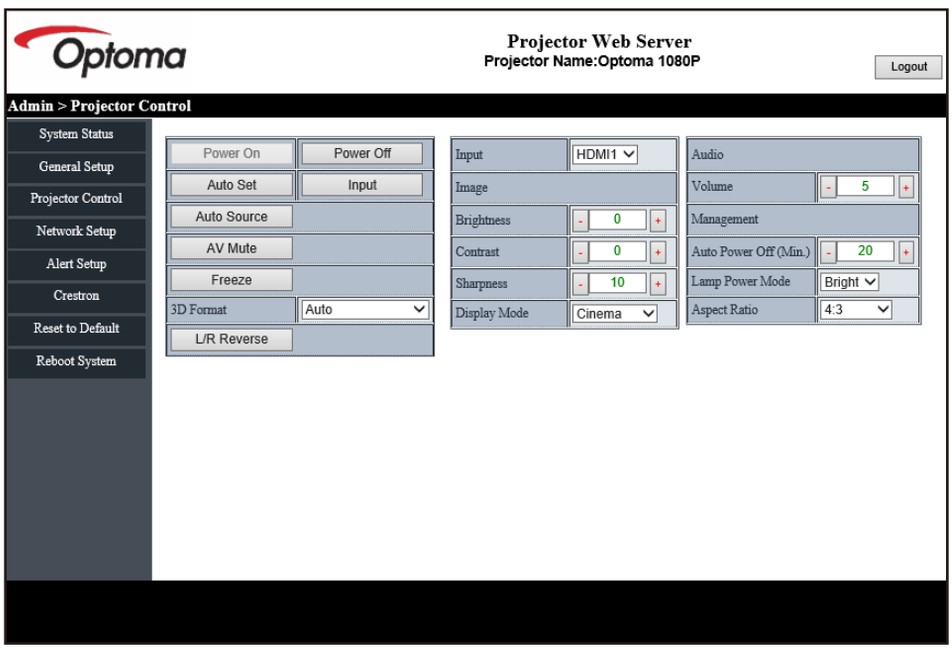
パスワードには英数字のみを使用できます。最小文字数は8文字です。無効な文字を入力すると、「無効な文字です」という警告が表示されます。

新しいパスワードの文字と確認(新しい)パスワードの文字が一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。この場合は、パスワードを再入力してください。



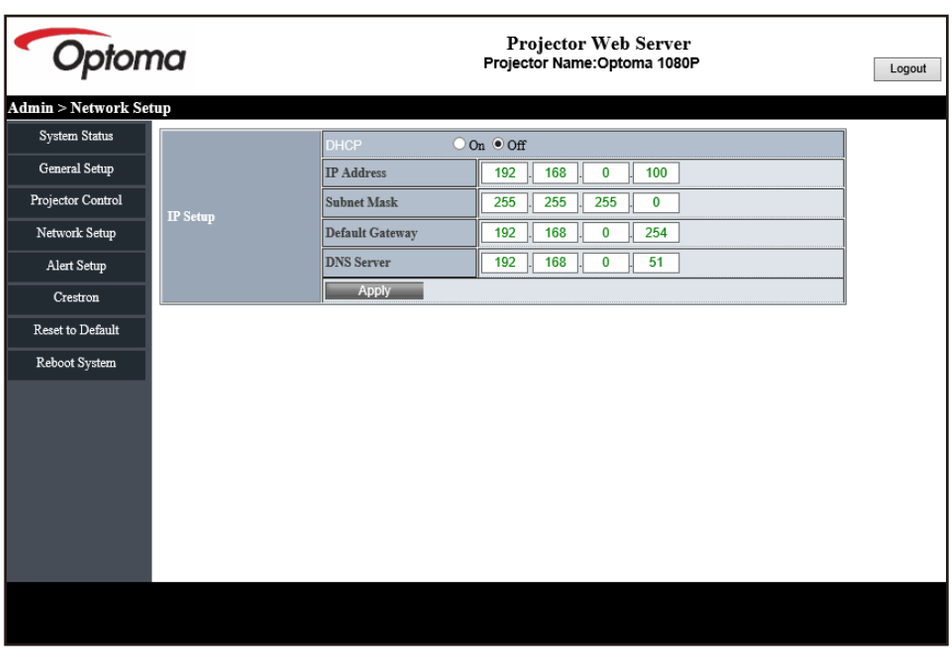
プロジェクター制御

この項目でプロジェクターを制御できます。ここでは、制御する項目について説明します。
コントロールボタン：ボタンをクリックすると、対応する機能が実行されます。



ネットワーク設定

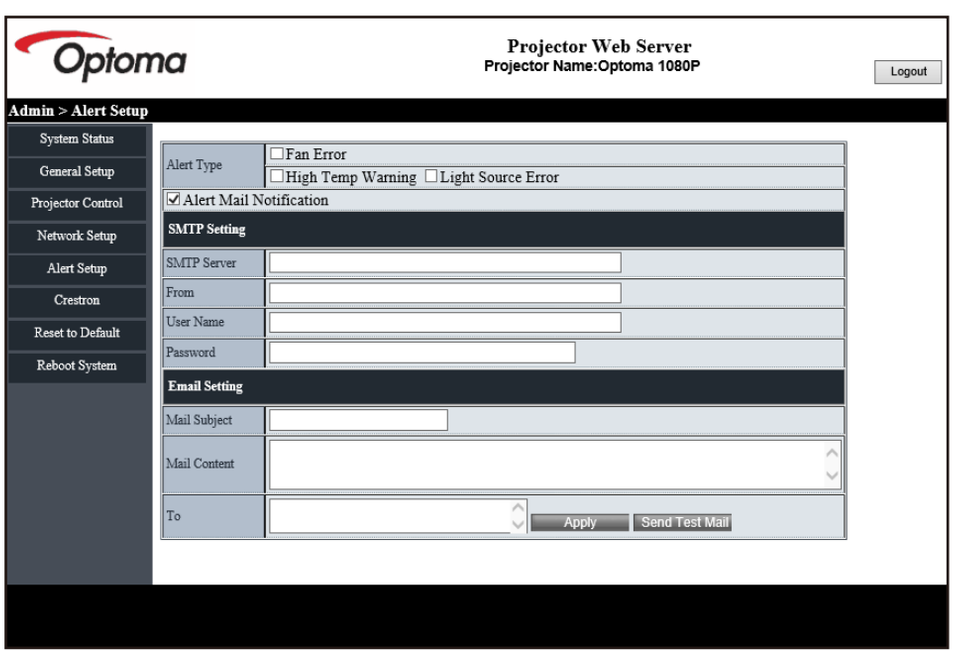
プロジェクターのネットワークを設定します。



アラート設定

エラーが発生したときにメールアラートを送信できます。このセクションでは、アラートメールの設定を行うことができます。

1. アラートの種類: アラートメールを送信するエラーの種類にチェックを入れます。
2. アラートメール通知: 次の設定を確認して実行します。
   - SMTP 設定: 以下を設定します。
     a) SMTP サーバー: サーバーアドレス (サーバー名) (SMTP サーバー)
     b) From: 送信者のメールアドレス
     c) ユーザー名: メールサーバーのユーザー名
     d) パスワード: メールサーバーのパスワード。
   - メール設定: 以下を設定します。
     a) メールの件名
     b) メールの内容
     c) To: 送信者のメールアドレスを入力します。
3. [適用] をクリックして値を修正します。
4. *xxx.xxx.xxx.xxx にプロジェクターの IP アドレスを入力します。
5. テストメールを送信します。
   [テストメール送信] をクリックすると、テストメールが送信されます。
   テキストは「Email Test xxx.xxx.xxx *」になります。



設定と設置

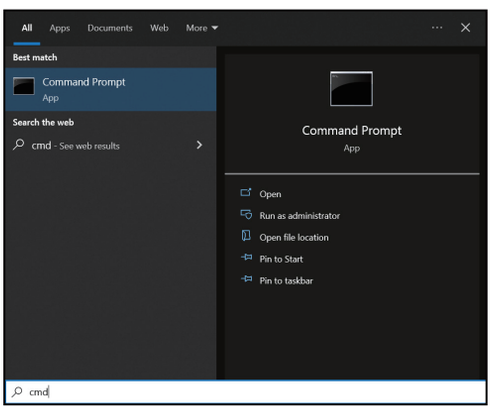
[RS232 by Telnet] 機能

制御の代替方法として、このプロジェクターには、LAN/RJ45 インターフェイス用の TELNET による
RS232 コマンド制御があります。

[RS232 by Telnet] のクイックスタートガイド

- プロジェクターの OSD で IP アドレスを確認します。
- PC/ラップトップがプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
- PC/ラップトップが 「TELNET」 機能を拒否する場合、「Windows ファイアウォール」設定が無効になっていることを確認します。

1. **[検索]** をクリックし、検索語として「cmd」と入力します。「Enter」キーを押します。



2. コマンドプロンプトアプリを開きます。
3. コマンドを次の形式で入力します。
   - telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 ([Enter] キーを押す)
   - (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレス)
4. Telnet 接続の準備ができており、ユーザーが RS232 コマンドを入力できる場合は、「Enter」キーを押すと、Telnet 接続で RS232 コマンド制御の準備が整います。

[RS232 by TELNET] の仕様：

1. Telnet: TCP。
2. Telnet ポート: 23 (詳細については、テクニカルサポートセンターにお問い合わせください)。
3. Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. Telnet セッションを終了するには、コマンドプロンプトアプリウィンドウを閉じます。
5. TELNET 接続準備完了直後の Windows Telnet ユーティリティ。
   - Telnet 制御の制限 1: Telnet-Control アプリケーションの連続するネットワークペイロードは 50バイトを超えることはできません。
   - Telnet 制御の制限 2: Telnet-Control の連続する RS232 コマンドは、26 バイトを超えることはできません。
   - Telnet 制御の制限 3: 次のコマンドの最小遅延は 200 (ミリ秒) を超えている必要があります。

リセットメニュー

コントロール設定を工場デフォルト値に戻します。

設定と設置

情報メニュー

情報メニュー

以下に示すプロジェクター情報を表示します：

- 制御
- シリアル番号
- 入力源
- カラー情報
- 光源時間
- モード
- Device ID
- エアフィルタ使用時間
- ブライトモード
- FWバージョン

追加情報

対応解像度

HDMI 入力信号

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
VGA	640 x 480	60	Mac 60/72/85
SVGA	800 x 600	60(*2)/72/85/120(*2)	Mac 60/72/85
XGA	1024 x 768	48/50(*4)/60(*2)/70/75/85/120(*2)	Mac 60/70/75/85
SDTV(480I)	720 x 480	60	
SDTV(480P)	720 x 480	60	
SDTV(576I)	720 x 576	50	
SDTV(576P)	720 x 576	50	
WSVGA(1024x600)	1024 x 600	60 (*3)	
HDTV(720p)	1280 x 720	50(*2)/60/120(*2)	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 75
WXGA	1280 x 800	60/50/48Hz(*4)	Mac 60
WXGA(*5)	1366 x 768	60	
SXGA	1280 x 1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA	1440 x 900	60	Mac 60/75
SXGA+	1400 x 1050	60	
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV(1080I)	1920 x 1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/30/50/60	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200(*1)	60/50(*4)	Mac 60

注記：

- (*1) 1920 x 1200 @60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。
- (*2) 3D Ready プロジェクター (STD) および True 3D プロジェクター (オプション) の 3D タイミング。
- (*3) 新しい ERA & Data プロジェクターは、このタイミングの WSVGA を備えている必要があります。
  Proscene と Home は便利です。
- (*4) Proscene および Data プロジェクター > 4,000L、ネイティブ解像度は @50Hz/48Hz をサポートする
  必要があります。
- (*5) Windows 8 標準タイミング。

追加情報

True 3D ビデオ互換性

入力解像度	HDMI 1.4a 3D 入力	入力タイミング		
		1280 x 720P @ 50Hz	Top and Bottom	
		1280 x 720P @ 60Hz	Top and Bottom	
		1280 x 720P @ 50Hz	Frame Packing	
		1280 x 720P @ 60Hz	Frame Packing	
		1920 x 1080i @ 50Hz	Side by Side（Half）	
		1920 x 1080i @ 60Hz	Side by Side（Half）	
		1920 x 1080P @ 24Hz	Top and Bottom	
		1920 x 1080P @ 24Hz	Frame Packing	
	HDMI 1.3	1920 x 1080i @ 50Hz	Side by Side（Half）	Side by Side モードがオン
		1920 x 1080i @ 60Hz		
		1280 x 720P @ 50Hz		
		1280 x 720P @ 60Hz		
		800 x 600 @ 60Hz		
		1024 x 768 @ 60Hz		
		1280 x 800 @ 60Hz		
		1920 x 1080i @ 50Hz	Top and Bottom	TAB モードがオン
		1920 x 1080i @ 60Hz		
		1280 x 720P @ 50Hz		
		1280 x 720P @ 60Hz		
		800 x 600 @ 60Hz		
		1024 x 768 @ 60Hz		
		1280 x 800 @ 60Hz		
		1024 x 768 @ 120Hz	Frame Sequential	3D映像フォーマットが Frame Sequential
		1280x 720 @ 120Hz		

注記：

- *3D 入力が 1080p@24Hz である場合、DMD を 3D モードの整数倍で再生する必要があります。*
- *1080i@25Hz および 720p@50Hz は 100 Hz で動作します。その他の 3D タイミングは 120Hz で動作します。*
- *1080p@24Hz は 144Hz で動作します。*

追加情報

EDID (Digital)

XGA/WXGA				
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
640 x 480 @ 60Hz	1600 x 1200 @ 60Hz	ネーティブタイミング:	640 x 480p @ 60Hz	XGA：
640 x 480 @ 67Hz	1440 x 900 @ 60Hz	XGA： 1024 x 768 @ 60Hz	720 (1440) x 480i @ 60Hz	1280 x 720p @ 60Hz
640 x 480 @ 72Hz	1280 x 720 @ 60Hz	WXGA： 1280 x 800 @ 60Hz	720 (1440) x 576i @ 50Hz	1366 x 768 @ 60Hz
640 x 480 @ 75Hz	1280 x 800 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz	1920 x 1080p @ 50Hz
800 x 600 @ 56Hz	640 x 480 @ 120Hz		720 x 576p @ 50Hz	1920 x 1080p @ 60Hz
800 x 600 @ 60Hz	800 x 600 @ 120Hz		1280 x 720p @ 60Hz	
800 x 600 @ 72Hz	1024 x 768 @ 120Hz		1280 x 720p @ 50Hz	WXGA：
800 x 600 @ 75Hz	1280 x 720 @ 120Hz		1920 x 1080i @ 60Hz	1280 x 800p @ 120Hz
1024 x 768 @ 60Hz			1920 x 1080i @ 50Hz	1366 x 768 @ 60Hz
1024 x 768 @ 70Hz			1920 x 1080p @ 60Hz	1920 x 1080p @ 50Hz
1024 x 768 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 50Hz	1920 x 1080p @ 60Hz
1280 x 1024 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 24Hz	
1152 x 870 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 25Hz	
			1920 x 1080p @ 30Hz	

1080p				
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 1024 @ 60Hz	ネーティブタイミング:	720(1440) x 480i @ 60Hz 4:3	3840 x 2160p @ 60Hz
640 x 480 @ 67Hz	1400 x 1050 @ 60Hz	1920 x 1080p @ 60Hz	720(1440) x 576i @ 50Hz 4:3	
640 x 480 @ 72Hz	1024 x 768 @ 120Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	
640 x 480 @ 75Hz	1280 x 720 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 56Hz	1280 x 720 @ 120Hz		1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz		1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz	1440 x 900 @ 60Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 75Hz	1600 x 1200 @ 60Hz		640 x 480p @ 60Hz 4:3	
1024 x 768 @ 60Hz			1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz			1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 30Hz 16:9	
1152 x 870 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 120Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 24Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 25Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 30Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 50Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 60Hz 16:9	
			4096 x 2160p @ 24Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 25Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 30Hz 256:135	

追加情報

1080p				
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
			4096 x 2160p @ 50Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 60Hz 256:135	
			720 x 480p @ 60Hz 16:9	
			720(1440) x 480i @ 60Hz 16:9	
			720 x 576p @ 50Hz 16:9	
			2880 x 480i @ 60Hz 16:9	
			1440 x 480p @ 60Hz 16:9	
			2880 x 576i @ 50Hz 16:9	
			1440 x 576p @ 50Hz 16:9	
			720(1440) x 576i @ 50Hz 16:9	

追加情報

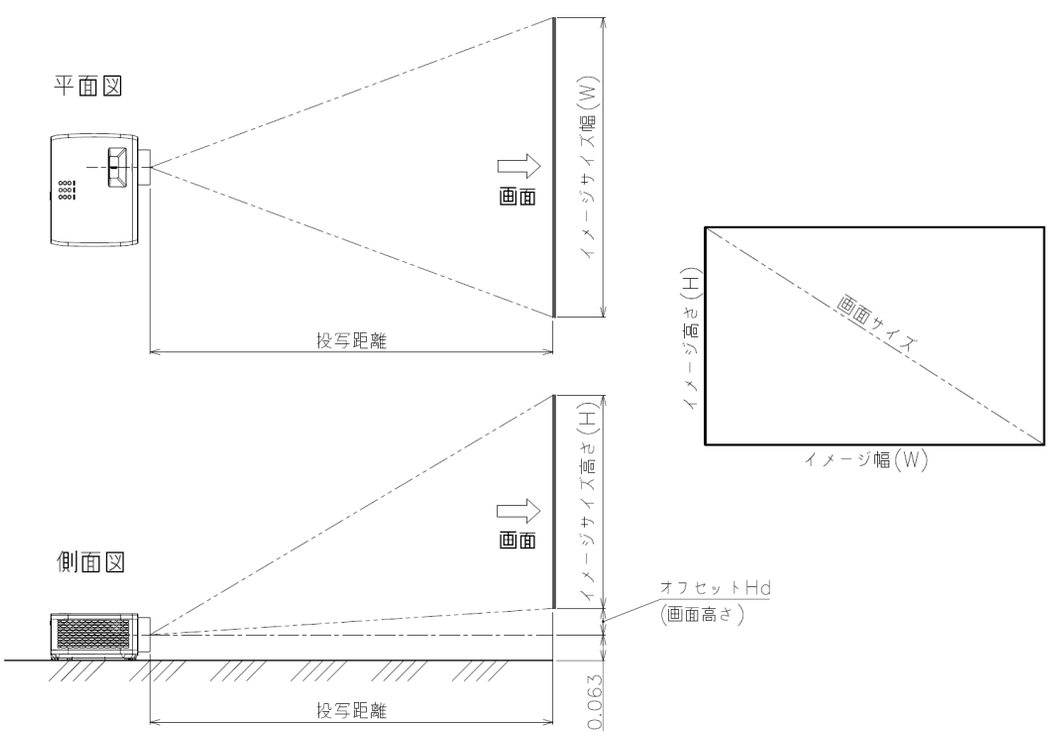
イメージサイズと投写距離 ※1

イメージサイズは0.930m(30インチ)~9.980m(322インチ)の範囲で調整可能です。

画面サイズ FHD (16：9)	イメージサイズ(m)		プロジェクターの距離(m) ※1		オフセットHd(m)最短（ワイド）時 ※2 レンズ芯からイメージ下端
	幅(W)	高さ(H)	最短（ワイド）	最長（テレ）	画面高さ
30	0. 664	0. 374	0. 930	1. 488	0. 060
40	0. 886	0. 498	1. 240	1. 984	0. 080
50	1. 107	0. 623	1. 550	2. 479	0. 099
60	1. 328	0. 747	1. 860	2. 975	0. 119
70	1. 550	0. 872	2. 170	3. 471	0. 139
80	1. 771	0. 996	2. 479	3. 967	0. 159
90	1. 992	1. 121	2. 789	4. 463	0. 179
100	2. 214	1. 245	3. 099	4. 959	0. 199
110	2. 435	1. 370	3. 409	5. 455	0. 219
120	2. 657	1. 494	3. 719	5. 951	0. 239
130	2. 878	1. 619	4. 029	6. 447	0. 258
140	3. 099	1. 743	4. 339	6. 942	0. 278
150	3. 321	1. 868	4. 649	7. 438	0. 298
160	3. 542	1. 992	4. 959	7. 934	0. 318
170	3. 763	2. 117	5. 269	8. 430	0. 338
180	3. 985	2. 241	5. 579	8. 926	0. 358
190	4. 206	2. 366	5. 889	9. 422	0. 378
200	4. 428	2. 491	6. 199	9. 918	0. 398
210	4. 649	2. 615	6. 509	10. 414	0. 417
220	4. 870	2. 740	6. 819	10. 910	0. 437
230	5. 092	2. 864	7. 128	11. 406	0. 457
240	5. 313	2. 989	7. 438	11. 901	0. 477
250	5. 535	3. 113	7. 748	-	0. 497
260	5. 756	3. 238	8. 058	-	0. 517
270	5. 977	3. 362	8. 368	-	0. 537
280	6. 199	3. 487	8. 678	-	0. 557
290	6. 420	3. 611	8. 988	-	0. 576
300	6. 641	3. 736	9. 298	-	0. 596
322	7. 128	4. 010	9. 980	-	0. 640

※1　アスペクト比FHD（16：9）映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）

※2　オフセットHdは、設置面の水平度に影響を受けるため、およその値として下さい。

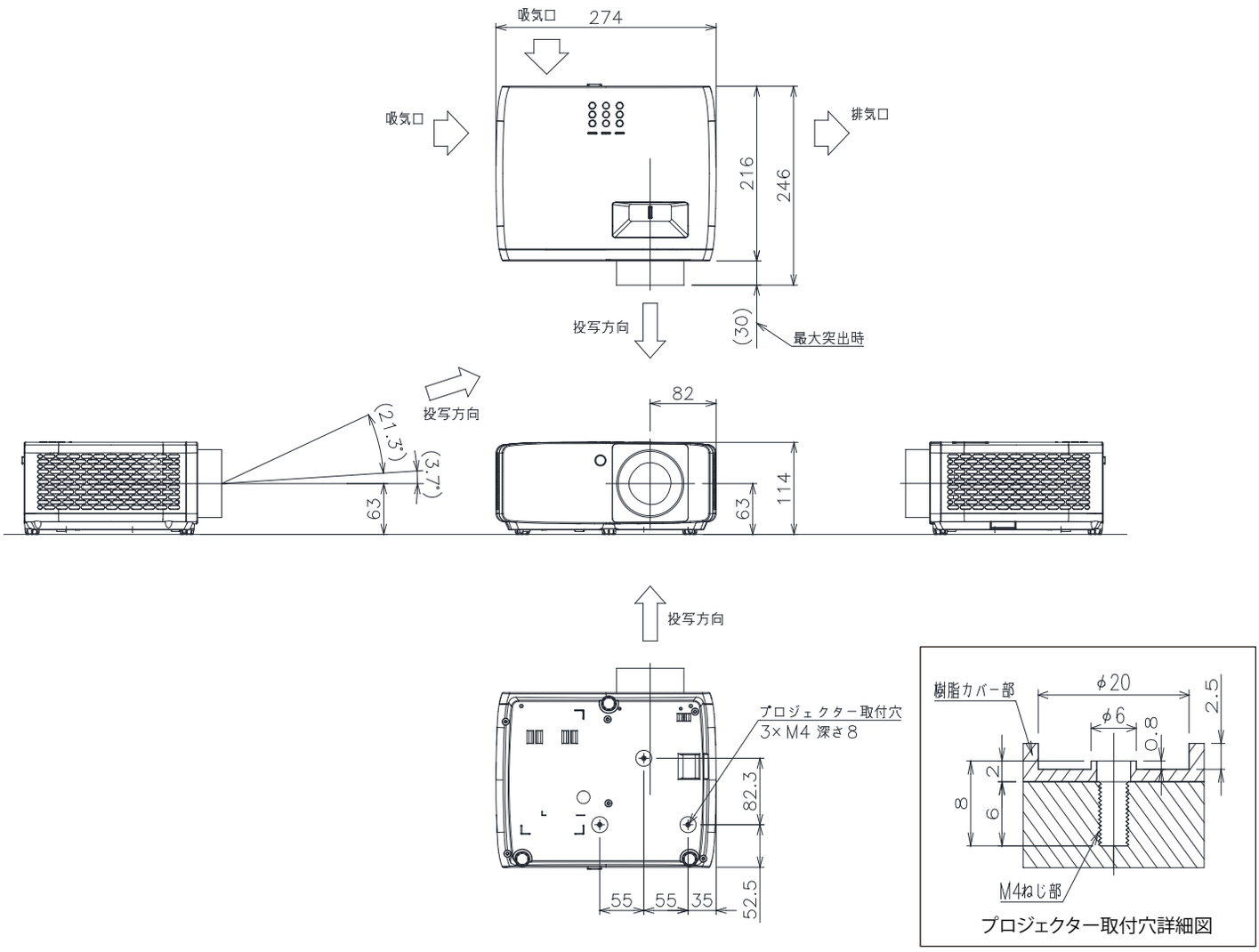


追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ずオーエスの天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるねじが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ねじの種類：M4
- ねじ深さ： 8mm



単位: mm

注記： *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

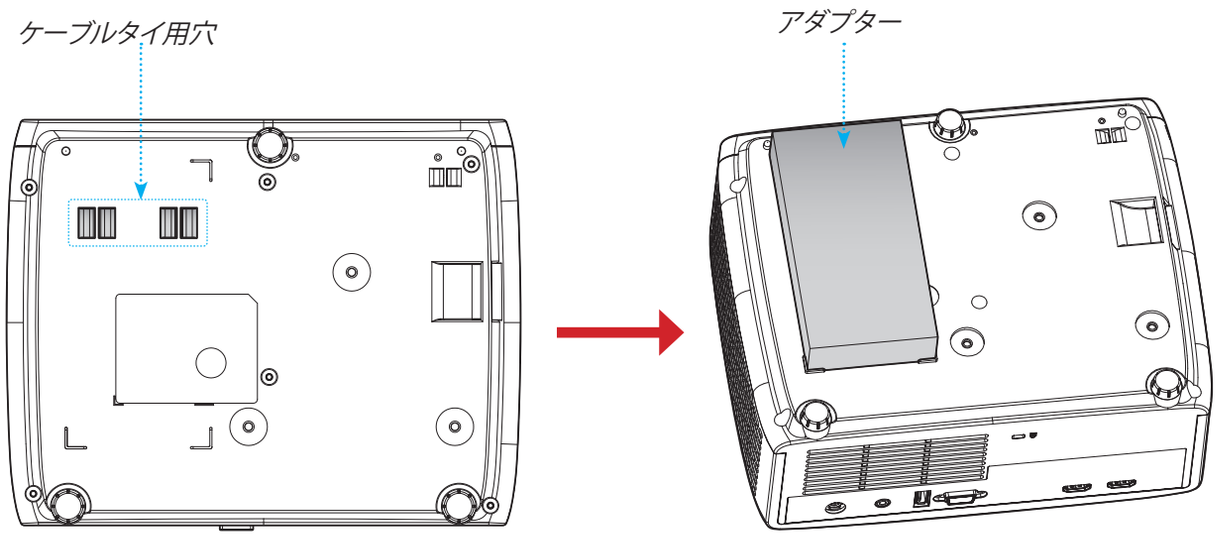
警告：

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずねじのサイズが正しいことをご確認ください。ねじのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

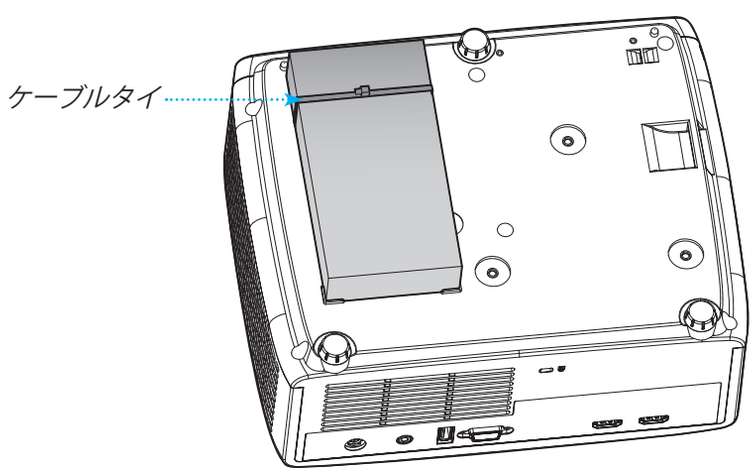
追加情報

天井取り付けの場合、必要に応じて、長さが 250mm を超えるケーブルタイを購入して AC アダプターを固定できます。

1. プロジェクターの下部にある指定の穴にケーブルタイを取り付けます。次に、AC アダプターをスロットに配置します。



2. AC アダプターをケーブルタイで固定します。



追加情報

IRリモコンコード

キー		NEC フォーマット	カスタマーコード		キーコード		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
電源	⏻	フォーマット 1	32	CD	02	FD	押すとプロジェクタの一電源がオン/オフになります。
アスペクト比	⊠	フォーマット 1	32	CD	64	9B	これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。
ソース	⇥	フォーマット 1	32	CD	C3	3C	押して入力信号を選択します。
モード	🖵	フォーマット 1	32	CD	5	FA	これを押すと、表示画像のモ ードを変更できます。
4 方向選択キー（上）	∧	フォーマット 2	32	CD	11	EE	これを押して、項目を選択するか、選択合わせて調整を行います。
4 方向選択キー（左）	<	フォーマット 2	32	CD	10	EF	
4 方向選択キー（右）	>	フォーマット 2	32	CD	12	ED	
4 方向選択キー（下）	∨	フォーマット 2	32	CD	14	EB	
入力	○	フォーマット 1	32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
設定/設定メニュー	⚙	フォーマット 1	32	CD	A8	57	これを押して、設定メニューに入ります。
戻る	↩	フォーマット 1	32	CD	0D	F2	これを押して、前メニューに戻ります。
メニュー	≡	フォーマット 1	32	CD	0E	F1	これを押して、On Screen Display メニューを表示または終了します。
音量 -	🔈	フォーマット 2	32	CD	8F	70	これを押して、音量を小さくします。
ミュート	🔇	フォーマット 1	32	CD	52	AD	押すと一時的に音声のオン/オフを切り換えることができます。
音量 +	🔊	フォーマット 2	32	CD	8C	73	押すと音量が大きくなります。

追加情報

キー		NEC フォーマット	カスタマーコード		キーコード		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
フリーズ	❄	フォーマット 1	32	CD	06	F9	押すとプロジェクターの画像が一時停止します。
キーストン		フォーマット 1	32	CD	7	F8	押すと、プロジェクタを斜め方向から投写することで生じる画像のゆがみを調整します。
AV 消音		フォーマット 1	32	CD	03	FC	押すとスクリーンの画像が表示/非表示になり、オーディオのオフ/オンが切り替わります。

追加情報

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはテクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- プロジェクターのフォーカスリングで調整してください。(18 ページ参照)
- 投写画面が必要な距離の間に入っていることを確認してください。(59 ページ参照)

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生するとき、プロジェクター側から16:9形式で最適な画像を表示します。
- LBX形式のDVDタイトルを再生する場合は、プロジェクターのOSDでフォーマットをLBXに変更してください。
- 4:3 フォーマットのDVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSDで 4:3 にフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットを設定してください。

画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- ズームレバーを時計回りまたは反時計回りに回して、投写される画像のサイズを拡大または縮小します。(*18* ページ参照)
- プロジェクターを画面に近づけたり、離したりしてください。
- プロジェクターパネルの 「メニュー」を押して、「ディスプレー → アスペクト比」に進みます。異なる設定をお試しください。

画像が横に傾く：

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

画像が反転する

- OSDから「ディスプレー → 設置モード」 を選択し、投写方向を調整します。

追加情報

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの動作範囲が、プロジェクターの IR レシーバー直角方向から ±15° 以内にあるかを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 6 メートル以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認してください。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

警告インジケーター

警告インジケーター (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。

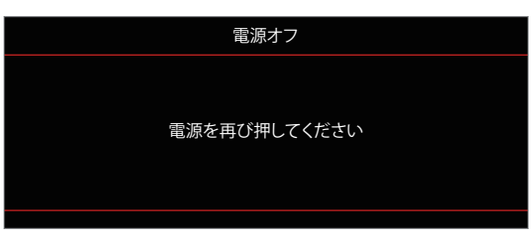
- 「ランプ」LED インジケーターが赤く点灯し、「電源」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「電源」インジケーターが赤色に点滅している場合。
  これはプロジェクターが過熱状態になっていることを表します。標準の条件になると、プロジェクターを再度オンにすることができます。
- 「温度」LEDインジケーターが赤く点滅し、「電源」インジケーターが赤色に点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケーターが再度、点灯または点滅した場合は、テクニカルサポートセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

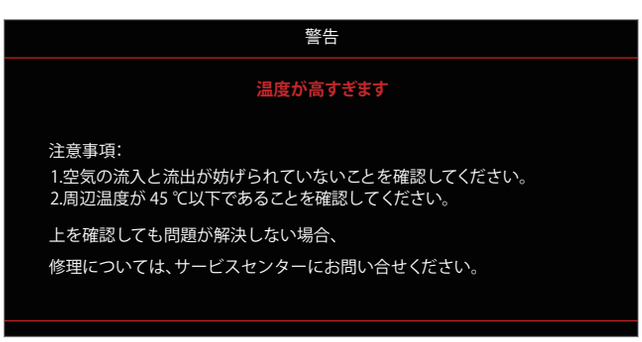
LED点灯メッセージ

メッセージ	電源 LED		温度 LED	ランプ LED
	(赤)	(緑または青)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (電源コード接続済)	点灯			
電源オン (警告)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
電源オン/ランプ点灯		点灯		
電源オフ (冷却)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン) 冷却ファンがオフになると、赤の点灯に戻ります。		
エラー (ランプトラブル)	点滅			点灯
エラー (ファン故障)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

- 電源オフ：



- 温度警告：



追加情報

仕 様

本体カラー	ホワイト
投写方式	DLP®Technology
表示素子	FHD（1920×1080） 0.65型 DMDチップ　※1
HDR信号	HDR10、HLG対応
入力解像度	取扱説明書 参照
アスペクト比	16：9　※2
明るさ	4,000ルーメン（ANSI）
コントラスト比	300,000：1
投写レンズ	F=2.5～3.26、 f=20.91～32.62、ズーム1.6倍
光源	レーザー
光源寿命	30,000時間(エコモード)
投写距離	0.930m（30型）～9.980m（322型）　※3
レンズシフト	無し
キーストン補正	水平±30°・垂直±30°
コンピューター信号	UHD、FHD、HDTV（720p,1080i/p）、UXGA、SXGA+、SXGA、WXGA、SDTV（480i/p,576i/p）、XGA、SVGA、VGA、Mac
入力端子	HDMI（V2.0 HDCP2.2 最大4K HDR（3840x2160）/60fps）×2
出力端子	オーディオ（3.5mmジャック）×1、USB（5V 1.5A）×1
コントロール端子	RS-232C×1 、RJ45 ×1
スピーカー	15W×1（モノラル）
騒音値	27dB（エコモード）
電源	本体：DC 19.5V　7.5A　、　付属ACアダプター AC 100V ～ 240V（50/60Hz）
消費電力	176W±15%（ブライトモード）
待機電力	0.5W以下（エコモード）
RoHS指令	適合
防塵性能	IP6X
外形寸法（レンズ部含む）	（W）274mm×（D）246mm×（H）114mm （突起部を含まない）
製品質量	本体：3.1kg 、ACアダプター：0.5kg
付属品	電源コード、ACアダプター、リモコン（CR2025）、取扱注意書（QRコード）
梱包寸法	（W）400mm×（D）155mm×（H）280mm
梱包質量	約4.5kg
推奨動作環境	気温 0～40℃、湿度 10～80%(結露無きこと)、標高2500m以下

※ 仕様は予告なしで変更されることがあります。

※1 DMD™/DLP®テクノロジーの中核をなす半導体、デジタル・マイクロミラー・デバイス。半導体上に可動する極小のミラーが、AZH460（1920x1080）の場合、207万個以上敷き詰められ、1秒間に9000回というスピードで切り替えられて、ミラーに当たった光を反射して画像を再現します。

※2 画面の横と縦の比率です。

※3 アスペクトFHD（16：9）映写時の距離です。 投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）

memo

memo

memo

販売元　株式会社オーエスエム

連絡先：株式会社オーエス　テクニカルサポートセンター

〒557-0063　大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL　0120-465-040　FAX　0120-380-496

（受付時間：平日 9：00 ～ 17：50　土日祝日を除く）

E-mail：info@os-worldwide.com

WEB：https://www.optoma.jp